

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査

# 解説資料

中学校 国語

～一人一人の生徒の学力・学習状況に応じた  
学習指導の改善・充実に向けて～



平成 26 年 4 月  
国立教育政策研究所 教育課程研究センター

## 目 次

平成26年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について .....	1
I 中学校国語科の調査問題作成に当たって .....	5
II 調査問題一覧表 .....	9
A 主として「知識」に関する問題 .....	10
B 主として「活用」に関する問題 .....	12
III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等） .....	13
A 主として「知識」に関する問題 .....	13
1 報告会をする .....	14
2 物語を書く .....	17
3 文学的な文章を読む（「坊っちゃん」） .....	20
4 ウェブページを作成する .....	24
5 説明的な文章を読む .....	28
6 話し合いをする .....	32
7 絵の鑑賞文を書く .....	37
8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 .....	41
B 主として「活用」に関する問題 .....	51
1 読書についての標語を考える .....	52
2 説明的な文章を読む（接着剤） .....	59
3 落語を味わう（「目黒のさんま」） .....	65
IV 解答用紙（正答（例）） .....	73
国語A .....	74
国語B .....	76
V 点字問題（抜粋） .....	79
点字問題（抜粋） .....	80
解答類型（点字問題部分） .....	82
巻末資料 .....	83

# 平成26年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

## ◆ 目的

本資料は、平成26年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるよう作成したものです。

内容としては、教科に関する調査問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答についての解説、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等をまとめています。

各教育委員会や学校におかれては、教育施策や学習指導の改善・充実、特に学校におかれては、調査対象となる学年の先生方をはじめ、学校全体での組織的・継続的な取組において御活用ください。

## ◆ 構成

- I 中学校国語科の調査問題作成に当たって
- II 調査問題一覧表
- III 調査問題の解説（出題の趣旨、解説、解答類型、学習指導に当たって等）
  - A 主として「知識」に関する問題
  - B 主として「活用」に関する問題
- IV 解答用紙（正答（例））
- V 点字問題（抜粋）
- 巻末資料

## ◆ 本資料の活用にあたって

### I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

### II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

中学校国語科の調査問題の作成にあたって	
<b>1 調査問題作成の基本理念</b> 「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成26年4月）では、調査問題の作成・内容について、各教科領域における各教科等の主幹となる基礎的な事項に絞った上で、調査問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。	
主として「知識」に関する問題（以下、「知識型」の問題）という。	身に付けておかなければ後々の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり習得に困難を感じるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題（以下、「活用型」の問題）という。	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための意思を促す実践的・創造的な力などにかかわる内容
また、本調査の実施によって、「各教科等委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容を正しく理解するよう促すとともに重視されるべきことを子どもたちに身に付けさせる」といった国としての政策的メッセージを示すこととなる」としている。 具体的な調査問題の作成にあたっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して主眼となる基礎的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。	
本調査の調査問題は、以上の点を踏まえながら、国語学方調査の考え方やそこで示された結果や課題等も考慮し、中学校学習指導要領（平成26年告示、以下、学習指導要領とす。）に示される国語科の目標・内容等に基づいて作成することを基本とした。	
<b>2 調査問題作成の枠組み</b> <b>（1）領域等と評価の観点</b> 調査問題の作成にあたっては、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている3領域（事項）「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の（基礎的な言語文化と語彙の特質に関する事項）に基づいて、その全体を視野に入れることとした。そのため、各領域等に示されている指導事項がバランスよく出題されるように配慮した。なお、中学校第2学年までの内容となるようにしている。	
◎ 「話すこと・聞くこと」の領域については、生徒が実際に話した内容に関する調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを通して、話す・聞く活動ができるだけ近づけた出題となるようにした。	
さらに、学習指導要領の総則「指導計画の作成等にあたって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。	
① 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。 ② 各教科等の指導にあたっては、生徒の思考力、判断力、表現力等を幅広く育成すること。基礎的・基本的な知識及び技能の活用を促す学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図るとともに必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実すること。 ③ 各教科等の指導にあたっては、体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を基盤とした問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。	

調査問題一覧表 【中学校国語科】		中学校国語科の調査問題										問題の概要	
問題番号	問題の概要	調査問題の概要										問題の概要	問題の概要
		知識型	活用型	知識型	活用型	知識型	活用型	知識型	活用型	知識型	活用型		
1	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
2	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
3	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
4	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
5	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
6	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
7	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
8	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
9	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
10	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
11	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
12	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
13	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
14	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
15	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
16	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
17	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
18	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
19	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型
20	「ついで」の文章を基にしたものについて、文中の言葉の意味を推察する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識型	知識型

### Ⅲ 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等）

調査問題について，出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導要領における領域・内容，学習指導に当たって等を記述しています。（設問によっては，記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。  
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

#### 1. 出題の趣旨

調査問題ごとに，出題の意図，把握しようとする力，場面設定などについて記述しています。

#### 2. 解説 趣旨

設問ごとの出題の意図，把握しようとする力などを示しています。

##### ■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう，関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

##### ■評価の観点

設問に関する評価の観点を示しています。

##### 解答類型

設問における解答類型を示しています。詳しくは下欄を御参照ください。

国語A

問題画像

1. 出題の趣旨

2. 解説

趣旨

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連  
〔第〇学年〕

■学習指導要領における領域・内容  
〔第〇学年〕

■評価の観点

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1		
2		
3		
4		
5	上記以外の解答	
6	無解答	

#### 一人一人の生徒の解答状況を把握するために

##### 解答類型

解答類型は，一人一人の生徒の具体的な解答状況を把握することができるよう，設定する条件などに即して解答を分類，整理するためのものです。正答例，誤答例を示していますので，自校での採点を行う際や学習指導の改善・充実を図る際に御活用ください。

<正答>

「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答

「○」…設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

<解答類型の番号>

解答類型 1～8（最大） 正答・予想される誤答（複数の解答類型が正答となる設問もある）

解答類型 9 「上記以外の解答」（解答類型 1～8 までに含まれない解答）

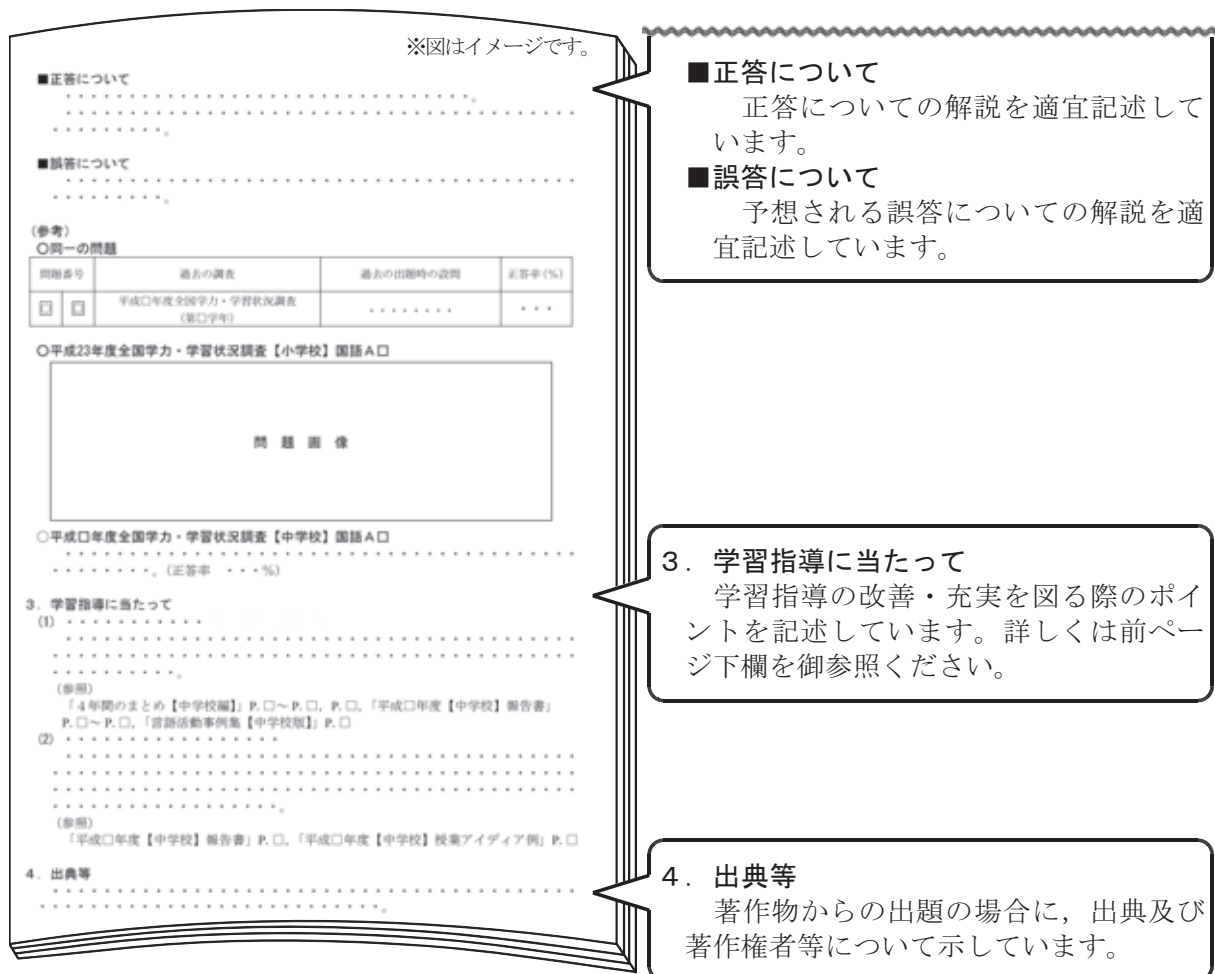
解答類型 0 「無解答」（解答の記入のないもの）

#### 日々の学習指導に生かすために

#### 3. 学習指導に当たって

学習指導の改善・充実を図る際の参考にしてください。また，調査問題に関する領域・内容について，各学年での日々の学習指導に際しても御活用ください。

なお，関連する過去の調査の報告書や授業アイディア例など，これまで作成した資料の該当ページを記載していますので，これらの資料も併せて御活用ください。



#### Ⅳ 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

自校での採点や学習指導の改善・充実に当たっては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等も併せて御参照ください。

#### Ⅴ 点字問題（抜粋）

本調査では、障害のある生徒や日本語指導が必要な生徒に対して、点字問題、拡大文字問題、総ルビ付き問題を用意しています。点字問題では、調査問題が一部異なるため、該当する問題及び解答類型の一部を掲載しています。

#### 巻末資料

本調査において参考となる過去の調査についての情報及び本資料の作成に当たっての参考文献を示しています。



## ◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答の解説、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、第2学年までの内容を出題しています。対象学年である第3学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考となります。

各設問の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に、ぜひ御活用ください。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、自校での採点を含め、日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイントなどを示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまづきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、一人一人の生徒の具体的な解答状況を把握できるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものとして、「解答類型」を設けています。

正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）に着目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

「学習指導に当たって」では、関連する過去の調査の報告書や授業アイデア例などの該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて御活用いただくと効果的です。

※過去の報告書・授業アイデア例は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。（<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>）

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】報告書」	「平成○年度【○学校】報告書」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」 「平成23年度 全国学力・学習状況調査として実施予定であった調査問題を踏まえた授業アイデア例 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】授業アイデア例」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」

## I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

## 中学校国語科の調査問題の作成に当たって

### 1 調査問題作成の基本理念

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」(平成18年4月)では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、調査問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

主として「知識」に関する問題 (以下、『知識』の問題という。)	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 (以下、『活用』の問題という。)	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容等を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせるといった国としての具体的なメッセージを示すこととなる」としている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

本調査の調査問題は、以上の点を踏まえながら、国際学力調査の考え方やそこで示された結果や課題等も考慮し、中学校学習指導要領(平成20年告示。以下、学習指導要領とする。)に示された国語科の目標・内容等に基づいて作成することを基本とした。

### 2 調査問題作成の枠組み

#### (1) 領域等と評価の観点

調査問題の作成に当たっては、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている3領域1事項(「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項])に基づいて、その全体を視野に入れることとした。そのため、各領域等に示されている指導事項がバランスよく出題されるように配慮した。なお、中学校第2学年までの内容となるようにしている。

※ 「話すこと・聞くこと」の領域については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

さらに、学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。

- 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
- 各教科等の指導に当たっては、生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実すること。
- 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。



- 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。
- 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を用い、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とした。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、「活用」の問題における記述式の問題、「生徒質問紙調査」でみることにした。

## **(2)「知識」の問題の枠組み**

「知識」の問題は、各設問の出題の趣旨が学習指導要領の一つの指導事項に対応することを基本としている。

また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3領域1事項の全てからの出題となるように留意した。

解答時間は、45分である。

## **(3)「活用」の問題の枠組み**

「活用」の問題は、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」に示された例や学習指導要領に示された言語活動例などを参考に、実生活の具体的な場面や生徒が授業などで実際に行っている言語活動を想定したものにするを基本としている。一つの領域だけでなく、複数の領域の指導事項に対応させて出題している場合もある。

解答時間は、45分である。

## **(4)問題形式**

問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類としている。

記述式の問題では、一つに限定される正答を書くのではなく、幾つかの選択肢やいろいろな考え方、答え方があるものなどについて、自分の考えを明確にして書くことを求めている。具体的には、「活用」の問題において、各大問の中に一題程度、書かせる字数を100字程度として記述式の問題を取り入れている。



## Ⅱ 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【中学校国語】  
A 主として「知識」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領との関連				評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	伝統的な言語文化と国語の事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
1	一 フリップの効果を説明したものとして適切なものを選択する	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す	2ウ					○				○		
	二 報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	1エ					○				○		
2	一 主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える		2ウ					○			○		
	二 仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える		2エ					○				○	
3	一 主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ					○		○		
	二 「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア					○		○		
	三 生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ					○		○		
4	一 ウェブページの項目として適切なものを選択する	集めた材料を分類するなどして整理する		1イ					○			○		
	二 主語を置き換えて行事の記録を書き直す	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える		1エ					○				○	
5	一 「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する			2ア					○		○		
	二 「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する			2イ					○		○		
6	一 二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する	2オ					○					○	
	二 話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ					○				○		
7	一 文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる		2ア					○			○		
	二 文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す		2オ					○			○		

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領との関連				評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	伝統的な言語文化と国語の事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語・理解・技能	選択式	短答式	記述式
8	一 一	漢字を書く（地域の人をショウタイする）				2(1) ウ(4)					○	○		
	一 二	漢字を書く（円のハンケイを求める）				2(1) ウ(4)					○	○		
	一 三	漢字を書く（計画を行動にウツす）				2(1) ウ(4)					○	○		
	二 一	漢字を読む（アユの稚魚を放流する）				2(1) ウ(7)					○	○		
	二 二	漢字を読む（このホールは音響効果が良い）				2(1) ウ(7)					○	○		
	二 三	漢字を読む（新記録に挑む）				2(1) ウ(7)					○	○		
	三 ア	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは、急がは回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）				1(1) イ(9)					○	○		
	三 イ	適切な語句を選択する（先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておこう）				1(1) イ(9)					○	○		
	三 ウ	適切な語句を選択する（地域の伝統的な文化を継承する）				2(1) イ(4)					○	○		
	三 エ	適切な語句を選択する（笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う門には福来たる」という）				1(1) イ(9)					○	○		
	三 オ	適切な敬語を選択する（お客様、私が校内をご案内します）				2(1) イ(7)					○	○		
	三 カ	適切な語句を選択する（あの人は、単刀直入にものを言う）				1(1) イ(9)					○	○		
	三 キ	適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日のにのびのびと羽を伸ばす）				1(1) イ(9)					○	○		
	四	国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く（英気を養う）				2(1) イ(4)					○	○		
	五 一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（まうけて）				1(1) ア(7)					○	○		
	五 二	古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す				2(1) ア(4)					○	○		
	六	文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する				1(2) ア					○	○		



調査問題一覧表 【中学校国語】  
B 主として「活用」に関する問題

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領との関連				評価の観点				問題形式				
				聞話	書	読	伝統的な言語文化と国語の事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	
				くす	く	む										
				ここ	こ	こ										
				とと	と	と										
1	一	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	表現の技法について理解する				1(1)イ(4)					○	○			
	二	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ			2エ					○		○			
	三	ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く	文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く		2オ	2ウ	1(1)イ(4)	○		○	○	○				○
2	一	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	複数の資料を比較して読み、要旨を捉える			1イ						○		○		
	二	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する	複数の資料から必要な情報を読み取る			1カ						○		○		
	三	水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く		1ウ	2オ		○		○	○					○
3	一	演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ						○		○		
	二	殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する			2イ	2(1)ア(4)					○	○	○		
	三	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	2エ	2(1)ア(7)	○		○	○	○				○

### Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

#### A 主として「知識」に関する問題

## 国語A 1 報告会をする

**1** 田中さんの学級では、フリップを使って調理実習の報告会を行っています。田中さんのグループは、ハンバーグを中心とした献立にしました。次は、代表の『田中さんの報告』と『配付資料』です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) フリップは説明に用いる、図や表、言葉などを表した大根のカード。

**【田中さんの報告】**

私たちのグループは、『配付資料』にあるように、教科書に載っているもの以外の材料を使って、ハンバーグのソースとその付け合わせを工夫しました。

ソースは、大根をすりおろしてしょうゆを加え、あっさりとした味に仕上げました。短時間でおいしいソースができました。

付け合わせは、残った大根の葉を刻んで、にんじんと一緒にいためました。

**【配付資料】**

**<材料>**

■ 教科書に載っている材料

- ・ ひき肉
- ・ たまねぎ
- ・ パン粉
- ・ 牛乳
- ・ 卵
- ・ 塩・こしょう
- ・ 油

■ 教科書に載っているもの以外の材料

- ・ 大根
- ・ にんじん
- ・ しょうゆ
- ・ レモン汁

**二** 【田中さんの報告】と『配付資料』をもとにして、田中さんのグループが工夫したことについて質問をする場合、その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 ひき肉は何グラム使いましたか。

2 ハンバーグを焼くときに注意したことは何ですか。

3 レモン汁は何に使ったのですか。

4 どのような分組で調理したのですか。

**一** 田中さんが話しながら示しているフリップには、どのような効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 聞き手に説明の手順を示す。

2 話の内容を簡潔に示す。

3 聞き手に返事を求める。

4 話の内容を補う。



### 1. 出題の趣旨

- ・ 目的に応じて、資料を効果的に活用して話すこと
- ・ 必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すこと

報告するという言語活動は、目的や状況、相手に応じて、伝えたい内容を効果的に表現したり、相手の意図を考えながら聞き取ったりする能力を高める上で重要である。その際、話し手は、必要に応じて資料や機器などを効果的に活用することで、聞き手の理解をより深めることができる。また、聞き手は、資料などの情報を参考にしながら必要に応じて質問することで、相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりすることができる。

本問では、調理実習で各グループがメニューに加えた工夫を報告し合う場面を設定した。フリップで示す言葉の効果に気付いたり、聞き取ったことと資料とを重ね合わせて足りない情報を聞き出すための質問をしたりすることを求めている。

#### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 日常生活の中的话题について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

目的に応じて，資料を効果的に活用して話すことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 目的や状況に応じて，資料や機器などを効果的に活用して話すこと。 《話すこと》

#### ■評価の観点

話す・聞く能力

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	一	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

「ソースと付け合わせに一工夫」というフリップは，「教科書に載っているもの以外の材料」を使い，ソースと付け合わせに工夫を加えたという報告の内容を簡潔に示している。

### 設問二

#### 趣旨

必要に応じて質問し，足りない情報を聞き出すことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り，自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。 《聞くこと》

#### ■評価の観点

話す・聞く能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正 答
①	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

「田中さんのグループが工夫したこと」は、【田中さんの報告】にあるように、「教科書に載っているもの以外の材料を使って、ハンバーグのソースとその付け合わせを工夫」したということである。【田中さんの報告】では、【配付資料】の「教科書に載っているもの以外の材料」の中で、「レモン汁」だけがどのように使われたのか報告されていない。このことから、選択肢3が適切である。

### ■誤答について

- (1) 選択肢1→「ひき肉」は教科書に載っている材料なので、「田中さんのグループが工夫したこと」ではない。
- (2) 選択肢2, 4→「ハンバーグを焼くときに注意したこと」や「どのような分担で調理した」のかということは、「田中さんのグループが工夫したこと」ではなく、【配付資料】とも関係がない。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 資料や機器などを効果的に活用する

口頭で報告や説明等をする際には、伝えたい内容を聞き手に的確に伝えるため、文字や図表などを用いた分かりやすい資料を作ることが大切である。

本問で取り上げたフリップは、作成が比較的容易であり、様々な場面で活用することができる。作成する際には、話の内容を簡潔に示したり、話の内容を補ったりするなど、フリップを使う意図を明確にすることが重要である。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－6も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P.29～P.30


### (2) 内容を理解するために、適切な質問をする

報告や説明等を聞く際には、話の流れに沿って内容を理解しながら、疑問に思ったことや確認したいこと、更に知りたいことなどを見いだしていくことが重要である。そのことが、質問の形となって話し手に向けられる。適切な質問は、話し手と聞き手それぞれの理解を深めることができる。このような意義を踏まえて、その場の状況に応じて適切な質問をすることに重点を置いた指導をすることが大切である。



## 国語A 2 物語を書く

【提示された絵】



【物語の下書き】

本当にくだらない理由だった。冗談で言った一言が、あんなに勇太を怒らせるなんて……。

あの日以来、勇太は口をきいていない。今日の遠足で、仲直りをしようと思っただけれど、謝りかけが見つからない。僕の心は決んでいた。学校を出発したときにはまぶしすぎた太陽も、今は雲に隠れてしまっていた。

今日も仲直りできないと諦めかけた帰り道、僕は石にすまずいて転んでしまった。

「痛い。」

僕は、右膝を抱えた。

「大丈夫か。」

勇太だった。いつもの優しい声だった。

その声を聞いて、僕は心に決めた。

「この前はごめん。」

「もういいよ。そんなことより、足、大丈夫か。」

そう言いながら、勇太は僕に手を差し出してくれた。

「大したことはないよ。」

見上げた勇太の後ろには、

A

僕は立ち上がり、勇太と肩を並べて歩き始めた。また、仲良く過ごせると思うと、僕はうれしくなった。

【2】 山田さんは、国語の授業で、絵をもとに物語を創作しています。次は、『提示された絵』と『物語の下書き』です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 縦部では、雲り空の情景を使って、すっきりしない主人公の気持ちを表現していますが、その後、主人公の気持ちは変化しています。その気持ちの変化を効果的に表現するために、Aの部分に、この場面にあさむしい空の描写を書き加えたいと思います。書き加える描写として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 一つの雲にか雨が上がつて虹がかかっていた
- 2 一つの雲にか雲が晴れて青空が広がっていた
- 3 一つの雲にか重苦しい雲が立ち込めていた
- 4 一つの雲にか夕方の薄暗い空が広がっていた

二 僕が勇太と仲直りができたうれしさを読み手に印象深く伝えるために、Aの部分を「僕はうれしくなった」を次のように書き換えました。次の（ ）に当てはまる言葉を選んで、五字以内で書きなさい。

僕の心は（ ）

### 1. 出題の趣旨

- ・ 心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えること
- ・ 語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えること

物語を書くときには、心情が読み手に効果的に伝わるように描写を工夫して書いたり、書いた文章を読み直し、読みやすく分かりやすい文章にしたりすることが重要である。

本問では、一枚の絵から物語を創作する場面を設定した。物語を創作する際に、主人公の心情を情景の描写によって表したり、より印象的な表現に書き換えたりすることを求めている。

#### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 B 書くこと

ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

#### ■評価の観点

書く能力

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
2	一	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

主人公の気持ちが「僕の心は沈んでいた。」から「僕はうれしくなった」と変化していることに着目し、僕のうれしくなった心情を相手に効果的に伝えるように描写を工夫して書き加える必要がある。選択肢2は「青空が広がっていた」で晴れやかな気持ちを表し、「雲が晴れて」は——線部の「雲に隠れて」を踏まえているものであり適切である。

### 設問二

#### 趣旨

語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲<sup>すいこう</sup>》

#### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
②	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 仲直りができたうれしさを表す表現を適切に書いている。 ② 「僕の心は」に適切に続くように、五字以内で書いている。	
		(正答例) ・ (僕の心は) 軽くなった (。)(5字) ・ (僕の心は) 弾んだ (。)(3字) ・ (僕の心は) 晴れてきた (。)(5字)	
		1 条件①, ②を満たして解答しているもの	◎
		2 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの (例) ・ (僕の心は) 心が弾んだ (。)(5字)	
		3 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの (例) ・ (僕の心は) 沈んでいた (。)(5字)	
		9 上記以外の解答 0 無解答	

### ■正答について

仲直りができてうれしいという気持ちを、意味を変えずに、より印象的な表現に書き換えるとともに、「僕の心は」に適切に続くように書く必要がある。

### ■誤答について

「解答類型」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

[誤答例は、解答類型を参照のこと。]

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 相手に効果的に伝わるように描写を工夫する

物語の創作においては、場面の様子や登場人物の心情が読み手に効果的に伝わるように、表現の仕方や描写を工夫して書くことが重要である。その際、登場人物の心情を、その言動や情景の描写を通して表現したり、比喻などを効果的に使ったりして、読み手が具体的に想像できるようにすることが大切である。

### (2) 伝えたい事柄にふさわしい言葉に書き換える

推敲の場面では、伝えたい事柄を明確にした上で、それにふさわしい表現になっているか吟味することが重要である。特に物語を推敲する際には、「楽しい気持ちになった」、「悲しくなった」などの直接的な表現だけでなく、読み手の想像力を喚起し印象深い表現になっているかどうかという観点から見直すことも大切である。

(1)、(2)の学習を進める中で、改めて、文学的な文章の優れた表現に関心が向くことになる。これを生かして、例えば、様々な文章から、効果的な心情の描写の部分を抜粋して整理し、自分が創作をする際の参考とするなどの学習活動が考えられる。

国語A ③ 文学的な文章を読む（「坊っちゃん」）

③ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

（このまでのあらずじ）主人公の「おれ」は、数学の教師として東京から四国に来たが、初めての授業に戸惑ったり、興味の  
ない骨董を売り込まれたりする日々を過ごしていた。

ある日の晩大町と云う所を散歩して居たら郵便局の隣りに蕎麦とかいて、下に東京に注を加えた看板があった。おれは蕎麦が大好きである。東京に居た時でも蕎麦屋の前を通過して美味の香いをかぐと、どうしても喉がくぐりたくった。今日までは数学と骨董で蕎麦を忘れて居たが、こうして看板を見ると素直に出来なくなる。ついだから一杯食って行こうと思つて上がり込んだ。見ると看板はどでもない。東京と聞かぬ以上はもう少し奇麗にしようなのだが、東京を知らないのか、金が無いのか、減法きたない。登は色が変わつてお貞に砂でさらさらして居る。壁は煤で黒黒だ。天井はランプの油煙で、煤はつてるのみか、低くつて、思わず首を曲めろくらいだ。ただ蕎麦と蕎麦の名前をかいて張り付けたねん付だけは全く新しい。何でも古いものを買つて二、三日前から開業したに違ひなからう。ねだん付の第一号に「天龍羅」とある。おい天龍羅を持つてこいと大きな声を出した。するとこの時まで隣の方に三人かたまつて、何かするつて、ちゅうちゅう食つてた連中が、ひとくおれの方を見た。部屋が暗いので、ちよつと気がつかないが顔合せると、みんな学校の生徒である。先方で挨拶をしたから、おれも挨拶をした。その晩は久しぶりで蕎麦を食つたので、皆かつたから天龍羅を四杯平げた。

翌日何の気もなく教場へはいると、黒板一杯ぐらゐない大きな字で、天龍羅先生とかいてある。おれの顔を見てみんなわあど笑つた。おれは馬鹿馬鹿しいから、天龍羅を食つちや可笑しいかと聞いた。すると生徒の一人が、しかし四杯は過ぎるぞな、もし、と云つた。四杯食おうが五杯食おうがおれの腹で食うのに文句があるもんかと、さつさと講義を済まして控所へ帰つて来た。十分立つて次の教場へ出ると一つ天龍羅四杯也。但し笑う可らず。と黒板にかいてある。さつきは別に腹も立たなかつたが今度は癪に障つた。冗談も度を通せばいたすのだ。焼酎の黒魚のようなもので誰も食め手はない。

（注一）骨董：古い物や珍物で賣りものあるもの。

（注二）減法：度をしていふこと。

（注三）油煙：油が燃えたとこから出る、黒い煙かな煙。

（注四）煤はつてる：煤で黒くなる。

（注五）蕎麦：蕎麦で人目につくま。

（注六）教場：教室。

（注七）四杯は過ぎるぞな、もし、四杯は食へ過ぎではないですか。

（注八）控所：職員室。

（翌日：翌日）坊っちゃんにまよ。

一 線部①「素直りが出来なくなる」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 看板の美しい文字にひかれたから。
- 2 探していた蕎麦屋を見つけたから。
- 3 店の暗く汚い様子が気になったから。
- 4 東京にいた頃から蕎麦が好物だから。

二 線部②「ひとくおれの方を見た」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 ちらつと、おれの方を見た。
- 2 假しげに、おれの方を見た。
- 3 そろつて、おれの方を見た。
- 4 熱心に、おれの方を見た。

三 線部③「一つ天龍羅四杯也。但し笑う可らず。」とありますが、これを見たときの「おれ」の心情を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 天龍羅蕎麦を四杯食べたことを誇り返し笑われ、恥かしい気持ちになつて居る。
- 2 自分の行動を繰り返しかかわれ、生徒のしつこい行動に腹を立てて居る。
- 3 何度注意をしても黒板に落書きされ、自信をなくして気持ちが落ち込んで居る。
- 4 好きでしていることを面白がられ、生徒に理解されず寂しく思つて居る。

## 1. 出題の趣旨

- ・ 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること
- ・ 文脈の中における語句の意味を理解すること
- ・ 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること

近代以降の代表的な作家の作品に触れることは、我が国の言語文化についての理解を深めさせ、これを継承・発展させる態度を育成することにつながる。

本問では、夏目漱石の「坊っちゃん」の一部を取り上げた。文脈の中における語句の意味を捉えたり、登場人物の言動の意味を考えたりすることを通して、内容を理解することを求めている。本作品は、現代の中学生にとってはやや難解な表現もあるが、時代を超えて現代に通じる面白さがある。本問を解くことを通して、近代文学を読むことのよさにも気付いてほしい。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 C 読むこと

ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

《文章の解釈》

### ■評価の観点

読む能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
③	一	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

本文には、「おれは蕎麦そばが大好きである。」「東京おに居った時でも蕎麦屋の前を通って薬味薬味の香いをかぐと、どうしても暖簾のれんがくぐりたくなかった。」という記述がある。このことから、選択肢4が適切である。



## ■誤答について

- (1) 選択肢 1→看板については、「蕎麦とかいて、下に東京と注を加えた」という記述があるのみで、文字の美しさには触れていない。
- (2) 選択肢 2→本文には、「今日までは数学と骨董で蕎麦を忘れて居た」と書かれていることから、蕎麦屋を探していたのではない。
- (3) 選択肢 3→「暗く汚い様子」に気付いたのは、店に入ってからである。

## 設問二

### 趣旨

文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。《語句の意味の理解》

## ■評価の観点

読む能力

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
③	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

## ■正答について

「ひとしく」の意味は複数あるが、この場面での意味は、「同じように。同時に。」である。本文では、「部屋が暗いので、ちょっと気がつかなかったが顔を合わせると、みんな学校の生徒である。」とあり、「おれの方を見た」ことと「連中」が誰なのかということとを同時に認識している。このことから、「おれ」の大きな声が気になった生徒が同じように自分の方を向いたという意味であることが分かる。

## 設問三

### 趣旨

登場人物の言動の意味を考え、内容を理解しているかどうかをみる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。《文章の解釈》

## ■評価の観点

読む能力

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
3	三	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

本文に「さっきは別に腹も立たなかったが今度は癪に障った。」「冗談も度を過ぎせ<sup>しゃく</sup>ばいたずらだ。」という記述があり、正答の「腹を立てている」が「癪に障った」、「生徒のしつこい行動」が「度を過ぎせば」をそれぞれ具体的に説明している。

### ■誤答について

生徒の言動に対する「おれ」の心情が書かれている語句としては、「馬鹿馬鹿しい」、「癪に障った」などがあり、これに当てはまらない選択肢1, 3, 4は誤答となる。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 登場人物の言動の意味を考えて内容を理解する

文学的な文章を読む際には、登場人物の言動に注意して読み、その意味や心情を叙述に即して考えることが大切である。指導に当たっては、音読や朗読などの学習活動を取り入れることが有効である。音読や朗読を通して、作品の語り方の特徴や登場人物の心情などについて感想をもち、交流しながら、内容の理解を深めていくことが重要である。

### (2) 文脈の中における語句の意味を理解する

文学的な文章に使われる語句は、文章の全体の雰囲気を作ったり、場面や登場人物の心情を印象付けたりするなどの役割をもっている。そのため、辞書的な意味と併せて、その文脈の中における意味や効果を考えていくことが大切である。

近代の作品は、現代の日常生活ではなじみの薄い語句や言い回しが使われていることもある。それらの意味については、前後の文章のつながりから推測したり、辞書を引いて確かめたりすることが大切である。読書の際には、新しく出合ったり気になったりした語句に着目するなどして、自らの語彙を豊かにしていく学習活動も重要である。

## 4. 出典等

夏目漱石『坊っちゃん』（平成25年1月 小学館）による。

## 国語A 4 ウェブページを作成する

「憧れの先輩に学ぶ！」

5月13日、サッカー部では、本校の卒業生、プロサッカー選手の青木太郎さんをお迎えして「サッカー講習会」を行いました。部長が、青木さんを先導し、グラウンドに登場しました。

↓

青木さんが、グラウンドに登場しました。

第一中学校 Dalichi JHS

トップページ

- ▶ 校長室より
- ▶ 学校便り
- ▶ 学校行事
- ▶ 各学年のニュース
- ▶  A
- ▶ 部活動

会長の言葉  
各委員会の取り組み  
ボランティア募集  
あいさつ運動

1

4 3 2 1  
生徒会活動 本校までの案内 授業の様子 年間の予定

池田さんは、第一中学校のウェブページを作成しています。次は、その「ウェブページの一部」です。これを見て、あとの問いに答えなさい。

二 池田さんは、ウェブページに掲載するために「行事の記録」をまとめています。掲載するに当たって、――線部を「青木さん」が「を主語にして一文で書き直そう」と思っています。の中に入るものとしてふさわしい内容、意味を変えないようにし書きなさい。なお、「先導」という言葉はそのまま用いること。

一 「ウェブページの一部」のAの部分をクリックすると、①のような項目が現れるようにしたいと考えています。Aの項目名として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

### 1. 出題の趣旨

- ・ 集めた材料を分類するなどして整理すること
- ・ 叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えること

文章の構成を考える能力は、様々な場面で発揮される。例えば、日常生活の中で生徒が目にするウェブページも、様々な情報が整理され、全体の構成を考えて示されている。

本問では、学校のウェブページを作成する場面を取り上げ、集めた材料を分類して整理したり、目的や意図に応じて適切に書き換えたりすることを求めている。

設問二は、平成23年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A5「目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換えることができるかどうかをみる」問題を踏まえて出題した。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

集めた材料を分類するなどして整理することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに，段落の役割を考えて文章を構成すること。 《構成》

#### ■評価の観点

書く能力

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
4	一	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

A には，クリックすると現れる項目の内容をまとめる言葉が入る。「会長の言葉」，「各委員会の取り組み」，「ボランティア募集」，「あいさつ運動」は，生徒会活動に関する内容である。

### 設問二

#### 趣旨

叙述の仕方などを確かめて，適切に書き換えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

エ 書いた文章を読み返し，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲》

#### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
4	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 青木さんが部長に先導されていることが分かるように書いている。 ② 「青木さんが,」と「, グラウンドに登場しました。」に適切に続くように書いている。 * 「先導」という言葉を用いていないものは, 解答類型9とする。	
		(正答例) ・ (青木さんが,) 部長に先導され (, グラウンドに登場しました。) ・ (青木さんが,) 部長の先導により (, グラウンドに登場しました。)	
		1 条件①, ②を満たして解答しているもの	◎
		2 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの (例) ・ (青木さんが,) 部長に先導されている (, グラウンドに登場しました。) * 前後に適切に続くように書いていない。	
		3 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの (例) ・ (青木さんが,) 部長を先導して (, グラウンドに登場しました。)	
		9 上記以外の解答 0 無解答	

### ■正答について

「青木さんが」を主語にして, 青木さんが部長に先導されていることが分かるように書く必要がある。また, 「, グラウンドに登場しました。」に適切に続くように書く必要がある。

### ■誤答について

「解答類型」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

[誤答例は, 解答類型を参照のこと。]

(参考)

○平成23年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A〔5〕

5

次は、新聞委員の北川さんが「一年生をむかえる会」の様子を伝えた、学校新聞の記事の「下書きの一部です。」――部を「一年生が」を主語にして書きかえます。あとの中に入るふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きましよう。

【北川さんの下書きの一部】

**元気いっぱい 一年生 みんなの仲間入り！**

四月十二日、きれいかざった体育館で「一年生をむかえる会」がありました。連行係の合図のあと、六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。体育館いっぱいにはびきわたるたくさんのはくす。九十二人の一年生は、みんなここにこ顔。

（下書きが続く）

一年生が、、体育館に入場してきました。

※解答は、解答用紙に書きましよう。

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 集めた材料を分類するなどして整理する

紹介や報告をする文章を書く際には、相手や目的、方法などを意識し、書く材料を分類するなどして整理して伝えることが大切である。例えば、伝えたい事柄の関連を考えて分類し、まとまりごとに見出しを付ける学習活動などが考えられる。その上で、新たな情報について、どの項目に含まれるかを検討したり、項目を示す順序を考えたりする学習活動も効果的である。また、このような情報の分類の仕方を自校のウェブページに当てはめて、具体的な発信の方法を考えるような学習活動も有効である。

#### (2) 叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える

紹介や報告の文章を書く際には、中心になる事柄が明確になっているかという観点で書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめることが大切である。その上で、必要に応じて適切に書き換える力を身に付ける必要がある。例えば、同じ事柄について主語が異なる二つの文を示し、主語に応じて変わる部分を確認したり、読み手の立場になって伝わり方の違いを比べたりする学習活動が考えられる。その際、小学校学習指導要領の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕における、語句に関する事項の指導を踏まえることが重要である。

**5** 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(日高敏隆『動物の言い分 人間の言い分』による。)

(注1) ママゴエルは「年ガエルの別名」ママともいう。

(注2) とくろを巻いて腰首をもたげゝへビが蛇を攻撃するときに、体を渦巻き状に巻き、首を鎌のように曲げて持ち上げている様子。

（日高敏隆）「動物の言い分 人間の言い分」による。」

一 線部①「動物が外界のものを認識するしくみ」とありますが、本文中に示されている「動物」「ア」と「外界のもの」「イ」との組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- |   |           |                |
|---|-----------|----------------|
| 1 | (ア) ガマガエル | (イ) ヘビ         |
| 2 | (ア) ガマガエル | (イ) エーヴエルト     |
| 3 | (ア) ヘビ    | (イ) 塩化ビニールのパイプ |
| 4 | (ア) ヘビ    | (イ) ガマガエル      |

二——線部②「次々に簡略化していった」とありますが、エーヴエルトがこのように実験を行った理由として最も適切なものを次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 初期の模範に対してガマガエルが威嚇姿勢をならなかったのは条件を変えよと思ったから
- 2 少しでも早く結果を出したために、実験にかかると手回を省いて研究を進めようと思ったから
- 3 ガマガエルがべっぴのどのようの特徴に反応して威嚇姿勢をとるのかを知ろうと思ったから
- 4 ガマガエルがどの威嚇姿勢に、どのような音頻があるのかを確かめようと思ったから



## 1. 出題の趣旨

- ・ 抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解すること
- ・ 文章全体と部分との関係を考え、内容を理解すること

未知の事柄を知るために説明的な文章を読む際には、重点となる語句に注目したり、図表と文章との関連を整理したりして読むことが重要である。

本問では、ガマガエルが外界のものを認識する仕組みを知るために行われた実験に関する説明的な文章を取り上げた。新たな知識を得るために、抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解することや、文章の内容の大体を捉えながら個々の叙述に着目して読み、内容を理解することを求めている。本問のように、図が効果的に使用されている科学的な文章を読むことを通して、説明的な文章を読むことの面白さにも気付いてほしい。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。

《語句の意味の理解》

### ■評価の観点

読む能力

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
5	一	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

筆者は、エーヴェルトの実験を紹介し、「動物が外界のものを認識するしくみ」を説明している。正答は、実験材料である「動物」の「ガマガエル」と、「外界のもの」としての「ヘビ」の組合せを正しく捉えている選択肢1である。

## 設問二

### 趣旨

文章全体と部分との関係を考え、内容を理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

### ■評価の観点

読む能力

### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
⑤	1 1と解答しているもの	
	2 2と解答しているもの	
	3 3と解答しているもの	◎
	4 4と解答しているもの	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

### ■正答について

エーヴェルトは、ガマガエルが相手を「危険なヘビ」として認識するときに見ているものは「ヘビの姿の全体としての構成（コンフィギュレーション）にちがいない」と考えている。それを明らかにするために、「とぐろを巻いて鎌首をもたげたヘビ」の姿から少しずつ特徴を取り去ってもガマガエルが反応するかどうかを確かめていた。そうして最後まで残ったものが、ガマガエルが相手を「危険なヘビ」と認識するのに必要な特徴ということになる。

このことから、エーヴェルトが模型を「徐々に簡略化していった」のは、ガマガエルがヘビのどのような特徴に反応しているかを知るためであることが分かる。

### ■誤答について

- 選択肢1→初めの模型に対して、ガマガエルは威嚇姿勢をとっている。
- 選択肢2→「簡略化していった」とは、実験にかかる手間を省いて研究を進めたということを示しているのではない。
- 選択肢4→威嚇姿勢の種類については、本文で説明されていない。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 抽象的な概念を表す語句が示す事柄を適切に理解する

説明的な文章には、特徴的な言葉や抽象的な概念を表す語句が用いられている場合がある。それらの語句を適切に理解するためには、論の展開を追いながら具体的に捉える必要がある。例えば、日常生活で起こる身近な事象を取り上げた説明的な文章などを用いて、その文章の抽象的な概念を表す語句を具体的な事柄に置き換えて、文章の内容を確認する学習活動が考えられる。

## (2) 文章全体と部分との関係を考え、理解に役立てる

説明的な文章において文章全体と部分とを関連付けて読むためには、題名、文章中にある問いと答えとの関係等を手掛かりに、文章全体で筆者が述べようとしていることの大体を捉えることが大切である。

社会生活においては、説明する内容や説明の仕方がやや難解な文章を読むこともある。その際、文章の大体を理解することと、叙述に即して詳細に読むこととを適切に組み合わせて読み進める必要がある。指導に当たっては、筆者が伝えたい事柄を読み手に分かってもらうためにどのような例を挙げているか、どのような順序で論を展開しているかを読み取る学習活動が考えられる。

## 4. 出典等

日高敏隆『動物の言い分 人間の言い分』（平成13年5月 角川書店）による。

## 国語A⑥ 話し合いをする

【黒板】

一 このあと、司会の岩田さんは、どのように話し合いを進めていけばよいですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

二

- 1 題名の候補を他にも複数挙げさせ、これまでの二つの案と比べてそれぞれのよさを述べさせる。
- 2 どちらの題名がよいかすぐに手を挙げさせ、その結果を参考に最終的に司会が決定する。
- 3 それぞれの題名に賛成する人たちがグループを作り、そこで出た意見を次回までに整理する。
- 4 推薦理由の共通点を確認し、相違点について他の人から質問や意見を求めて題名を一つに絞る。

【黒板】

題名の候補について

候補	メモリー ～いつも胸に友がいた～	はばたき ～きずなを胸に～
整理	学級の団結力	
共通点		
相違点	過去の思い出	

【話し合いの一部】

岩田さん（司会）

「メモリー、いつも胸に友がいた」と「はばたき、きずなを胸に」に絞りました。今日は、題名を決定します。まず、それぞれの題名の推薦者から再度意見を聞きます。そして、話し合ってみます。それでは、南さんからお願いします。

南さん

「メモリー、いつも胸に友がいた」がよいと考えます。修学旅行や合唱などの思い出を記録するのが文集だからです。読み返すたびに楽しかった過去を思い出すことができます。また、副題から、学級でいつも団結できたことも表せます。

高橋さん

「はばたき、きずなを胸に」を推薦する理由は二つあります。一つめは、未来にはばたいていく私たちの姿を表す題名だからです。二つめは、何事も団結して取り組んだ学級のことが「きずな」という言葉に込められているからです。

### 1. 出題の趣旨

- ・ 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること
- ・ 話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすこと

話し合いにおいて、目的や場面に応じて、話題や方向を捉えて話し合ったり、互いの発言を検討したりすることは重要である。社会生活においても、話し合いによって一つの結論を導き出す場面がたくさんある。その際には、互いの発言の共通点や相違点を明確にすること、また、合意形成のために司会が提案の趣旨や理由を明確にしつつ、目的に沿って話し合いを進行することが大切である。

本問では、卒業文集の題名について話し合う場面を設定した。題名を決定するという目的を踏まえ、二つの提案の共通点と相違点を整理すること、建設的な話し合いを促す司会の役割に気付くことを求めている。

設問一は、平成23年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語B①二(1)「互いの考えの共通点と相違点を考え、司会の役割を果たしながら計画的に話し合うことができるかどうかをみる」問題を踏まえて出題した。

設問二は、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A①二（正答率 55.2%）において、個々の発言の内容を整理しながら、話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことに課題があると指摘していることを踏まえて出題した。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 日常生活の中的话题について対話や討論などを行うこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。 《話し合うこと》

#### ■評価の観点

話す・聞く能力

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型	正 答
[6]	— (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 高橋さんの推薦理由から「未来にはばたいていく私たちの姿を表す」という内容を適切に取り上げて相違点を書いている。 ② 高橋さんの発言の中にある言葉を使って、六字以内で書いている。 (正答例) ・ 未来の姿 (4字) ・ 私たちの未来 (6字)	
	1 条件①, ②を満たして解答しているもの  なお、次のものも正答とする。  ・ 条件②について、高橋さんの発言の中にある言葉だけでなく、それ以外の言葉も使って書いているもの (例) ・ 私たちの将来 (6字)	◎
	2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例) ・ 将来のみんな (6字) * 高橋さんの発言の中にある言葉を使って書いていない。	
	3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの (例) ・ 未来の団結 (5字) * 共通点を使って書いている。	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	



## 設問二

### 趣旨

話合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり,相手の発言を注意して聞いたりして,自分の考えをまとめること。 《話し合うこと》

### ■評価の観点

話す・聞く能力

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
⑥	二	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

司会の岩田さんは【話し合いの一部】で,二つの候補から題名を決定するという話合いの目的を述べている。このことから,各候補の推薦理由の共通点と相違点とを明確にし,題名の決定に向け,相違点に話題を絞ることが適切である。

### ■誤答について

- (1) 選択肢1→題名を決定するため,既に候補が二つに絞られているのに新たな候補を挙げさせようとしており,題名を一つに決定する進行になっていない。
- (2) 選択肢2→司会が話合いを経ずに,挙手の数を参考に決定しようとしており,最初に示した話合いの手順を踏まえた進行になっていない。
- (3) 選択肢3→今回の話合いの目的は,題名を決定することにあるが,今日の話合いの中で題名を一つに決定する進行になっていない。

(参考)

### ○平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A①二

話合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことができるかどうかをみる問題を出題している。(正答率 55.2%)

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 意見の共通点や相違点を整理する

複数の案から一つに絞り込む話合いを行う際には,それぞれの意見の共通点や相違点を整理する必要がある。特に相違点を明確にすることは,議論を焦点化する上で重要である。そのため,板書等で整理する際には,意見の内容を簡潔に示すだけでなく,対照的な内容を分かりやすく示すように指導することが大切である。



## (2) 見通しをもって話し合いを進行する

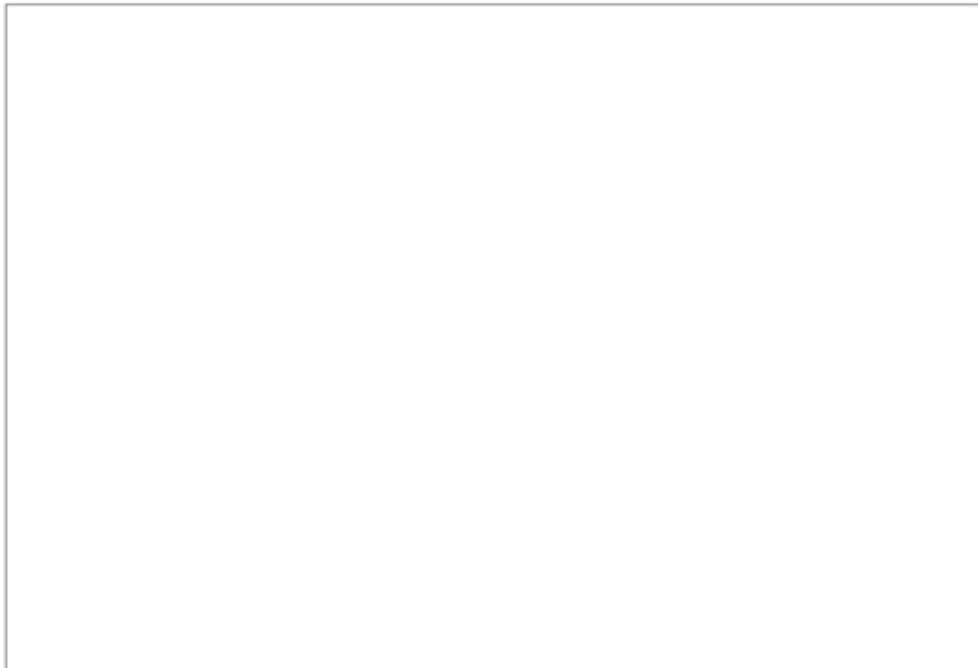
社会生活における話し合いには、一定時間内に合意形成を図らなければならないものがある。そのためには、結論に至るまでに踏むべき段階を考え、時間配分等も含めた見通しをもって進行する必要がある。なお、司会を立てて話し合いを行う場合は、話し合いの目的や形態に応じて、司会の役割を意識できるように指導する必要がある。例えば、話し合いの過程を録画し、司会の役割に注目して振り返る場を設定することが有効である。

指導に当たっては、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>1</sup>二に係る授業アイデア例も参考になる。

(参照)

「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P. 7

【鑑賞している絵】



「東海道五十三次 掛川」 歌川広重作

7

西さんは、絵について鑑賞したことを文章に書いています。次は、西さんが【鑑賞している絵】、絵を見て気付いたことや調べたことを書いた【付箋】、それらを用いて書いた【文章の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【付箋】

1

〈人物〉おじぎをする旅人。橋を渡って来る僧たち。踊るように橋を渡る子供。

2

〈季節〉田植えの頃。この地方では、田植えの頃にたこ揚げをしたそう。

3

〈構図〉手前に大きく橋を配置することで、遠近感が出ている。

4

〈作者〉江戸時代の浮世絵師。風景画を得意とする。

【文章の下書き】

橋の上では、旅人が僧に深々とおじぎをしています。よく見ると、そんなかしこまった旅人とは対照的に、橋を渡る子供の踊るような姿がユーモラスに描かれています。

この絵からは、旅人の中での人々の様子が生き生きと伝わってきます。そして、遠くの山を小さく描き、手前に大きく橋を配置することで、遠近感のあるダイナミックな絵となっています。

この絵には様々な工夫があり、見る人の想像をかきたててくれます。

一 西さんが【文章の下書き】を書くために使った【付箋】は、どれとどれですか。【付箋】の1から4までのうち、適切なものを二つ選びなさい。

二 西さんは、【文章の下書き】を読んだ友達からアドバイスをもらい、第一段落と第二段落を入れ替えて書き直すことにしました。このときのアドバイスとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 絵全体の印象を先に書き、部分を見て分かることを後に書くとういと思う。
- 2 疑問に思ったことを先に書き、それについての考えを後に書くとういと思う。
- 3 調べて分かったことを先に書き、自分で考えたことを後に書くとういと思う。
- 4 この絵の一般的な評価を先に書き、それに対する反論を後に書くとういと思う。

## 1. 出題の趣旨

- ・ 多様な方法で材料を集めながら考えをまとめること
- ・ 書いた文章について意見を交流し、文章を書き直すこと

芸術的な作品を鑑賞することは、音楽科や美術科でも行われている。鑑賞したことを文章に書くときには、対象となる作品の表現の仕方、作り手の思いや見方、作品から受けた印象や感動などに触れ、伝えたい事柄が明確になるように工夫して書くことが大切である。

本問では、日本を代表する浮世絵について、絵を見て感じたり考えたりしたことや調べたことに基づいて文章を書くという場面を設定した。

なお、問題の素材として浮世絵を取り上げたのは、今回が初めてである。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 B 書くこと

ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

多様な方法で材料を集めながら考えをまとめることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。  
《課題設定や取材》

### ■評価の観点

書く能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
7	—	1	1, 3と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

【文章の下書き】の第一段落には、【付箋】1の内容にある人物の様子について、第二段落には、【付箋】3の内容にある全体の構図について書かれている。

## 設問二

### 趣旨

書いた文章について意見を交流し、文章を書き直すことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。 《交流》

### ■評価の観点

書く能力

### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
7	二	1 1と解答しているもの
		2 2と解答しているもの
		3 3と解答しているもの
		4 4と解答しているもの
		9 上記以外の解答
		0 無解答
		◎

### ■正答について

【文章の下書き】の第一段落には、絵の一部分である人物の様子、第二段落には、絵全体の印象や構図について書いてある。第一段落と第二段落とを入れ替えることで、絵全体について書いた後に部分について書く文章となる。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 鑑賞文を書くために、集めた材料を取捨選択する

鑑賞したことを文章に書く際には、表現の仕方、内包されている意思などについて多様な角度から光を当てて、そのよさを見極めたり味わったりすることが大切である。そのようにして集めた材料を、対象となる作品の表現の仕方、作り手の思いや見方、作品から受けた印象や感動などに分類、整理することが大切である。

国語科においては、絵画や音楽の味わい方そのものを学習することが中心ではない。音楽科や美術科の学習と関連を図りつつ、集めた材料を効果的に使い、伝えたい事柄を適切に表現することを指導する必要がある。

### (2) 交流の重点を明確にする

書いた文章を交流する際には、互いの文章のよい点を学び合ったり、気付いた点について助言し合ったりすることを通して、自分の表現に役立てることが大切である。そのためには、どのようなことを重点にして交流するかを明確にすることが重要である。重点の例としては、題材をどのように捉えたか、材料をどのように収集、整理したか、根拠を明確に書いているかなどが考えられる。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－15も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P. 47～P. 48

#### 4. 出典等

【鑑賞している絵】は、歌川広重「東海道五十三次 掛川」（読売新聞東京本社販売局宣伝部『広重「東海道五十三次」全28集揃 原寸複製額絵』昭和54年8月－昭和56年11月 読売新聞社）による。

【付箋】は、読売新聞東京本社販売局宣伝部『広重「東海道五十三次」付録 いま、東海道14』（昭和55年9月 読売新聞社）などを参考にした。

国語A 8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

8 次の一から六までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の「」内のカタカナを漢字に直し、横書きでいねいに書きなさい。

- 1 地域の人をシヨウタイする。
- 2 円のハンケイを求める。
- 3 計画を行動にうつす。

二 次の1から3までの文中の「」内の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

- 1 アユの鰻魚を放流する。
- 2 このホールは音響効果が良い。
- 3 新記録に挑む。

三 次のアからキの文では、( ) の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア よい結果を早く出したときは、(1) 一事が万事 (2) 論より証拠 (3) 急がば回れ (4) 光陰矢の如し」といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

イ 先のこととは分らないが、(1) とりあえず (2) 思いがけず (3) 覚えず (4) 知らず知らず」準備だけはしておこう。

ウ 地域の伝統的な文化を(1) 景勝 (2) 敬称 (3) 継承 (4) 習得」する。

エ 笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う(1) 人 (2) 庭 (3) 所 (4) 門」には福来たる」という。

オ お客様、私が校内を(1) ご案内いただきます (2) ご案内します (3) ご案内になります (4) ご案内されます。

カ あの人、(1) 一朝一夕 (2) 早刀直入 (3) 悪戦苦闘 (4) 右往左往」にものを言う。

キ 忙しい兄は、休日にのびのびと将を(1) 伸ばす (2) 交わす (3) 並べる (4) 受む。

四 林さんは、『読んでいた本の一部』の「読者「英気を養う」の意味が分からなかったため、国語辞典で調べました。あとの『国語辞典』に載っている「英気」と「養う」を説明している言葉をそれぞれ使って、「英気を養う」の意味を書きなさい。ただし、「英気」については①②のどちらかの説明、「養う」については③④のいずれかの説明を選び、その言葉を使いなさい。

『読んでいた本の一部』

十分に休養を取ったので、明日の英気を養うことができた。

【国語辞典】

えいき【英気】(名) ①すぐれた才気。 ②活動する気力。

やしな・う【養う】(他動・五段) ①衣食など、生活の面倒をみる。 ②飼を与えて動物を飼う。 ③体力・知力などを少しずつつくり上げる。

五 次の文は、娘が生まれたねずみの夫婦が、娘のために婚を授す「ねずみの婚取り」という「昔話」です。ただし、……の中は『昔話』のもじになった古文のまま書かれています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【昔話】

「ねずみの、むすめをまうけて、娘のためにすばらしい婚を迎えようと思いました。ねずみは、世の中を照らしている太陽がすばらしいと思い、太陽を訪ねました。ところが太陽は、「私は、世の中を照らす力はあるけれども、雲によってその力もなくなってしまう。雲を婚にしないさい。」と言いました。そこでねずみは、雲のところへ行きました。すると雲は、「私は、太陽の光を隠す力はあるけれども、風に吹かれると飛ばされてしまう。風を婚にしないさい。」と言いました。そこでねずみは、風を訪ねると、風は、「私は、雲を吹き飛ばすことはできるけれども、土層があるとどうしようもない。土層を婚にしないさい。」と言いました。そこでねずみは、土層に会いに行きました。そして、これまでのいきさつを話すと、土層は、「私は、風ではびくともしないけれども、ねずみにかじられたらひとたまりもない。」と言いました。さては、[ ]は何にもすぐれたとて、[ ]を婚にとりけり。」

(注) 土層は土でぬり固めてつくった人。

1 「」内「読者「英気を養う」」を現代漢字通りに直し、全てひらがなで書きなさい。

2 【昔話】の中の二つの[ ]には、同じ言葉が入ります。[ ]に当てはまる言葉を【昔話】の中から探し、抜き出しながら書きなさい。

六 前田さんは、書写の時間に友達からもらったアドバイスを思い出しながら、小学校の先生に手紙を書いています。次は「書写の時間に書いた作品」と友達からの「アドバイス」。前田さんが書いている「手紙の書き出し」です。前田さんが「手紙の書き出し」を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを、「アドバイス」の1から4までのの中から「二つ」選びなさい。

【書写の時間に書いた作品】

美しい 新緑

【アドバイス】

- 1 「美」の最終画は、右払いではなく、止めて書くことよい。
- 2 「新緑」の文字の中心をそろえて書こう。
- 3 「し」は、次の「い」へのつながりを意識して書こう。
- 4 漢字に対してひらがなをやや小さくするとよい。

【手紙の書き出し】

拝啓 新緑の美しい季節となりました。先生、お元気で過ごしてでしょうか。

## 1. 出題の趣旨

- ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと
- ・ 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- ・ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
- ・ 辞書を活用して、語句の意味を適切に書くこと
- ・ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと
- ・ 古典と昔話とを対応させて内容を捉えること
- ・ 文字の大きさ、配列などに注意して書くこと

- ・ 漢字、語句については、過去の同一の問題を一定程度出題している（設問一、二、三）。
- ・ 語句については、国語辞典を活用して、二つの語句の複数の意味のうちから、それぞれ一つずつを組み合わせて文脈上の適切な意味を書くことを出題している（設問四）。
- ・ 伝統的な言語文化については、親しみやすい昔話を取り上げ、一部を古文で書き表し、文語のきまりや内容の理解について出題している（設問五）。
- ・ 書写については、授業で身に付けた毛筆による書写の能力を、日常生活で文字を書く際に生かせるかどうかについて出題している（設問六）。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
8	一 1	1	「招待」と解答しているもの		◎
		2	「招待」のうち「招」だけ正しく解答しているもの		
		3	「招待」のうち「待」だけ正しく解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	一 2	1	「半径」と解答しているもの		◎
		2	「半径」のうち「半」だけ正しく解答しているもの		
		3	「半径」のうち「径」だけ正しく解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	一 3	1	「移（す）」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

#### ■正答について

- 「招」は、小学校第5学年、「待」は、小学校第3学年の配当漢字である。
- 「半」は、小学校第2学年、「径」は、小学校第4学年の配当漢字である。
- 「移」は、小学校第5学年の配当漢字である。

(参考)

#### ○同一の問題

問題番号	過去の調査	過去の出題時の設問	正答率(%)
8 一 1	平成24年度全国学力・学習状況調査 (第3学年)	地域の人を <u>ショウタイ</u> する。	53.6



## 設問二

### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(ア) 第1学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。

### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
8	二 1	1 「ちぎょ」と解答しているもの	◎
		2 「ちぎょ」のうち「ち」だけ正しく解答しているもの	
		3 「ちぎょ」のうち「ぎょ」だけ正しく解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
	二 2	1 「おんきょう」と解答しているもの	◎
		2 「おんきょう」のうち「おん」だけ正しく解答しているもの	
		3 「おんきょう」のうち「きょう」だけ正しく解答しているもの	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	
	二 3	1 「いど(む)」と解答しているもの	◎
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

### ■正答について

- 「稚」は，学年別漢字配当表以外の常用漢字，「魚」は，小学校第2学年の配当漢字である。
- 「音」は，小学校第1学年，「響」は，学年別漢字配当表以外の常用漢字である。
- 「挑」は，学年別漢字配当表以外の常用漢字である。

### (参考)

#### ○同一の問題

問題番号		過去の調査	過去の出題時の設問	正答率(%)
8	二 2	平成20年度全国学力・学習状況調査 (第3学年)	このホールは <u>音響</u> 効果が良い。	90.9

### 設問三

#### 趣旨

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
8	三 ア	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	◎
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 イ	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 ウ	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	◎
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 エ	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 オ	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	◎
		3	3と解答しているもの	

		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 力	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	◎
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	三 キ	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

- ア 「時間がかかっても安全確実な方法をとった方が、結局は目的を早く達する」という意味をもつ「急がば回れ」が正答である。
- イ 「さしあたって」という意味をもつ「とりあえず」が正答である。
- ウ 「受けつぐ」という意味をもつ「継承」が正答である。
- エ 「笑いが満ちた明るい家庭には自然に幸福が訪れることのたとえ」である「笑う門には福来たる」が正答である。
- オ 「案内する」の謙譲語である「ご案内します」が正答である。
- カ 「前置きなしにいきなり本題に入る」という意味をもつ「単刀直入」が正答である。
- キ 「抑圧された状態から自由になり、思うように振る舞う」という意味をもつ「羽を伸ばす」が正答である。

(参考)

### ○同一の問題

問題番号		過去の調査	過去の出題時の設問	正答率(%)
8	三 力	平成19年度全国学力・学習状況調査 (第3学年)	あの人は、(1一朝一夕 2単 刀直入 3悪戦苦闘 4右往左 往)にものを言う。	89.8

#### 設問四

#### 趣旨

辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことができるかどうかをみる。

「4年間のまとめ【中学校編】」では、辞書に書かれている記述から、語句の意味を適切に捉えることに課題があると分析している。そこで本設問では、複数の意味をもつ「英気」と「養う」を提示し、それらを用いて、「英気を養う」の意味を適切に書くことを求めた。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

#### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

#### 解答類型

問題番号	解 答 類 型		正 答
8	四	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【国語辞典】の、「英気」の②を説明している言葉と、「養う」の③を説明している言葉を使って書いている。 ② 「英気を養う」の意味を適切に書いている。 (正答例) ・ 活動する気力を少しずつ作り上げる。	
		1 条件①, ②を満たして解答しているもの	◎
	2 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの (例) ・ 活動を作り上げる。		
	3 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの (例) ・ 活動する気力を育む。		
	9 上記以外の解答		
	0 無解答		

#### ■正答について

正答は、「活動する気力を少しずつ作り上げる。」のように解答しているものである。【国語辞典】には、「英気」と「養う」、ともに複数の意味が挙げられているが、【読んでいた本の一部】の文脈に対応した説明としては、「英気」の②に書かれている「活動する気力」と、「養う」の③に書かれている「体力・知力などを少しずつ作り上げる」がそれぞれふさわしい。これら二つの説明を適切に組み合わせて書く必要がある。

#### ■誤答について

「解答類型」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

[誤答例は、解答類型を参照のこと。]

設問五 1

趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
8	五 1	1	「もうけて」と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

(参考)

○平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 8七2

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題を出題している。(正答率 83.8%)

設問五 2

趣旨

古典と昔話とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
8	五 2	1	「ねずみ」と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

## ■正答について

正答は「ねずみ」と解答しているものである。娘が生まれたねずみの夫婦が、娘のためにすばらしい婿を探して太陽や雲などを訪ねるが、結局ねずみが一番優れているということになり、ねずみを婿に取ることになったという昔話である。

## 設問六

### 趣旨

文字の大きさ、配列などに注意して書くことができるかどうかをみる。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(2)

ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。

## ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
8	六	1	2, 4と解答しているもの	◎
		2	2または1と2, 2と3, 1と2と3と解答しているもの	
		3	4または1と4, 3と4, 1と3と4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

## ■正答について

【書写の時間に書いた作品】と【手紙の書き出し】とを比較し、文字の中心と、漢字と平仮名の大きさのバランスについてのアドバイスを生かして手紙を書いていることを理解した上で、【アドバイス】2, 4を二つ選択したものを正答とする。どちらのアドバイスも文字を書く上で必要な知識・技能であり、行書にも楷書にも共通するものである。

## ■誤答について

【書写の時間に書いた作品】では漢字を行書で書いており、【手紙の書き出し】では漢字と平仮名を楷書で書いている。【アドバイス】1では「美」の最終画を止めること、【アドバイス】3では「し」の終筆の方向を変えることについてのアドバイスがされており、これらは行書で書く上でのアドバイスである。

## 3. 学習指導に当たって

### (1) 日常的な漢字指導（対応設問：設問一・二）

漢字は、一字一字を正確に読み書きできるようにすることに加え、文脈の中で適切に使えるようにすることが大切である。そのためには、既習の漢字を積極的に使用したり、知らない熟語の意味をその漢字の訓読みから推測したりする機会を意図的に授業に取り入れることが大切である。なお、「常用漢字表」の改定に伴い、中学校学習指導要領の「漢字に関する事項」が一部改正されている（平成22年11月30日文部科学省告示第161号）。このことを踏まえて指導する必要がある。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>一に係る授業アイデア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－10も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】報告書」P.195,「4年間のまとめ【中学校編】」P.111,  
「言語活動事例集【中学校版】」P.37～P.38

(2) 場面に即した多様な語句・語彙指導の工夫(対応設問:設問三)

語句についての理解を深めるためには、語句の辞書的な意味を基にして、話や文脈の中の意味を捉えることが大切である。そのためには、話や文章の中で実際に使われている語句の意味を考え、似た意味を表す別の言葉に言い換えてみるなどの学習活動が有効である。また、語感を磨き語彙を豊かにするためには、例えば、類義語を取り上げ、使う場面や伝えたい内容を考えた上で適切に使い分けたり、「ことわざ辞典」を活用し、実際に話や文章の中でことわざや慣用句等を使ったりするなどの学習活動が効果的である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>8</sup>三に係る授業アイデア例も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイデア例」P.2,「平成21年度【中学校】報告書」  
P.200,「4年間のまとめ【中学校編】」P.110

(3) 辞書を活用した語句・語彙指導の工夫(対応設問:設問四)

語句の学習の際には、辞書の記述の仕方の特徴を理解して活用することが大切である。例えば、多義的な語句について、辞書に掲載されている複数の意味や用法の中から文脈に合ったものを選んだり、見出し語にない語句について、語句を分けて調べたりするなどの学習活動が考えられる。

(4) 古典に親しむ指導の工夫(対応設問:設問五)

古典の学習の際には、小学校での学習を踏まえた上で、古文の音読や朗読を通して古典特有のリズムを味わい、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典への興味・関心を深めることが重要である。

例えば、身近な昔話などを取り上げて、現代語訳を読んで興味をもった部分について原文を読んだり、古典を解説した文章を読んだりするなどの学習活動が有効である。

(5) 毛筆を使用する書写の指導によって硬筆による書写の能力の基礎を養う

(対応設問:設問六)

書写の学習の際には、生徒が書いたものについて助言し合うなどの場面を積極的に取り入れることが有効である。その際、学習の狙いに即して、漢字と仮名の調和はとれているか、文字の中心はそろっているかなどの観点を具体的に示すことが大切である。

書写の時間に習得した知識や技能が日常生活における文字を書く場面に生きるように、硬筆を使用する書写の指導の際には、毛筆での既習事項を想起するように指導することが効果的である。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－7も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P.31～P.32

#### 4. 出典等

五の【昔話】の一部は、渡邊綱也校注『日本古典文学大系85 沙石集』(昭和41年5月岩波書店)による。

### Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

#### B 主として「活用」に関する問題



国語 B

図書委員の早川さんは、昔にもっと本を読んでもらうために、社会で取り組まれている「読書週間」の標語を参考にして標語を作っています。次は、「読書週間」の標語を整理した「早川さんのノート」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「読書週間」の標語

・（公益社団法人読書推進運動協議会「読書週間」の標語による。）

- (公益社団法人読書推進連動協議会「読書週間」の標語による。)
- 《メッセージ》 ↓  
お気に入りの一冊をもつことは人生を豊かにする。この機会に本をたくさん読んで、読んだ本を友達に貸してはどうかというメッセージが伝わる。
- 《表現の工夫とその効果》 ↓  
呼びかけの形で始めることで、読者の関心を引いているところがよい。五七五のリズムも親しみがもてる。
- (右に同じ。)
- 《メッセージ》 ↓  
秋はさわやかな季節なので、たまには快い風の中で本を読み、リラクゼーションの時間を過ごしてみようかというメッセージが伝わる。
- 《表現の工夫とその効果》 ↓  
「　　」を使って、情景を豊かに想像させるようになっている。また、体言止めが使われ、秋が強調されている。
- (右に同じ。)
- 《メッセージ》 ↓  
× 本と読したり、本を読んだりするのはよいというメッセージが伝わる。
- 本の途中で本を読むのは楽しいことだ。また、本を読んでも、本を読めば未知の世界を知ることができるといふメッセージが伝わる。
- 「本」と「読する」という言葉のつなげ方を一文字変えて繰り返すことで、心地よいリズムが生まれている。

## 1 反複法

- |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| 4   | 3   | 2   | 1   |
| 倒置法 | 擬人法 | 對句法 | 反復法 |

直すときに注意したこととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 標語の言葉をそのままのまゝではなく、標語に直接書き添えない作者の思いを想像して書く
- 2 標語の言葉をそのままのまゝではなく、標語の内容に関連する事柄の様々な方法で調べて書く
- 3 標語の言葉をそのままのまゝではなく、この標語の使われている点をその標語と比較して書く
- 4 標語の言葉をそのままのまゝではなく、これまでに自分が読んだ本の内容と結び付けて書く

二 早川さんは、次の二の(横線) A、B を作りました。これらの(横線)について、あなたはどのように思いますか。A、B から一つ選び、ご自分の(横線)を選んでください。選んだ(横線)から引わたってくる「メッセージ」と(表現の工夫とその効果)についてのあなたの考えを、あとの条件にしたがって書きなさい。

なお、読み流して文章を直したいときは、二本で消した行間に書き加えたりしてもかまいません。

A 心のアンテナ読書で伸ばそう

- B その本が未来を示す案内図

条件2 (メッセージ) は、「というメッセージが伝わる。」に続くように書くこと

セージが伝わる。」は字数に含みません。」

⑧  
⑨

[illegible]

というメッセージが伝わる。

(表現の工夫とその効果)

## 1. 出題の趣旨

- ・ 表現の技法について理解すること
- ・ 文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつこと
- ・ 文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

様々な標語を読んだり、自分の思いや考えを標語の形で表現したりすることは、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるよう、簡潔に表現する能力を育成する上で有効である。

本問では、社会で取り組まれている「読書週間」の標語について、伝えたい事柄、表現の工夫とその効果を捉えた上で、生徒が作成した標語について、同様の観点から検討する場面を設定した。社会の中で実際に使われている表現と自分たちの表現とを比較して考えることは、実生活に生きて働く国語の力を育成することにつながる。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 B 書くこと

イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

表現の技法について理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。

### ■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
①	1 1と解答しているもの	
	2 2と解答しているもの	
	3 3と解答しているもの	◎
	4 4と解答しているもの	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

### ■正答について

「ページをめくる」のは「風」であり、擬人法が用いられている。

(参考)

○平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A③二

比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解することができるかどうかをみる問題を出題している。(正答率 43.0%)

設問二

趣旨

文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。  
《自分の考えの形成》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

【早川さんのノート】の~~~~線部では、「本を読むのは楽しいことだ」、「本を読めば未知の世界を知ることができる」という、標語には直接書かれていない作者の思いについて早川さんが想像したことが書かれている。

### 設問三

#### 趣旨

文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。 《交流》

〔第2学年〕 C 読むこと

ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 《自分の考えの形成》

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。

#### ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

読む能力

言語についての知識・理解・技能

#### 解答類型

問題番号	解答類型	正答
①	<p>三</p> <p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① AとBのいずれか一つの〈標語〉を選んで、その記号を塗り潰している。</p> <p>② 【早川さんのノート】を参考にして、〈メッセージ〉に、〈標語〉に直接書かれていない作者の思いを「というメッセージが伝わる。」に続くように、四十字以上、六十字以内で具体的に書いている。</p> <p>③ 【早川さんのノート】を参考にして、〈表現の工夫とその効果〉に、〈標語〉で用いられている表現の工夫とその工夫に応じた効果を、四十字以上、六十字以内で適切に書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <p>・ A</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>私たちは、本から様々な情報をキャッチすることができます。だから、心を豊かにするために本を読みませんか（というメッセージが伝わる。） (51字)</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>心のアンテナを伸ばすという比喩を用いることで、読書することのよさを読む人に分かりやすく示している。 (50字)</p>	

	<p>・ A</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>本は、新たな知識や感動を与え、成長を助けてくれるものです。自分を成長させる読書をしよう（というメッセージが伝わる。）（44字）</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>呼びかけの形にすることで、標語を読んだ人が自分のこととして考えられるようにしている。（43字）</p> <p>・ B</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>さりげなく手に取った一冊の本が、あなたの未来を決定付けることになるかもしれません（というメッセージが伝わる。）（41字）</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>本を案内図に例えることで、本から得る情報が読者の今後の生活や生き方に影響を与えることが印象深く伝わる。（52字）</p> <p>・ B</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>一冊の本との出会いが、案内図のようにあなたの未来への道筋を示すことができるので、読書週間をきっかけにしてもっと本を読もう（というメッセージが伝わる。）（60字）</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>五七五で書かれているのでリズムがよく、覚えやすくなっている。また、比喩も使われているので読み手の心に印象深く残る。（58字）</p>	
1	条件①，②，③を満たして解答しているもの	◎
2	<p>条件①，②を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの</p> <p>(例 1)</p> <p>・ B</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>(略)</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>標語全体が，五七五でできているところがよい。また，比喩が使われているのもよい。（40字）</p> <p>* 〈表現の工夫とその効果〉に，表現の工夫として用いられている表現の技法は書いているが，その効果を書いていない。</p> <p>(例 2)</p> <p>・ A</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>(略)</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>この標語にはたくさんの工夫がされているので，読み手の心に印象深く残ると思います。（41字）</p> <p>* 〈表現の工夫とその効果〉に，〈標語〉で用いられている表現の工夫を書いていない。</p>	

		<p>(例3)</p> <p>・A</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>(略)</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>倒置法を使ってアンテナを強調することで、「心のアンテナってなんだろう」と興味をもたせているところがよい。(53字)</p> <p>* 〈表現の工夫とその効果〉に書いていることが、〈標語〉で用いられている表現の工夫として適切ではない。</p>	
3		<p>条件①，③を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの</p> <p>(例)</p> <p>・A</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>心のアンテナは，読書をすることで伸ばすことができます。だから，本を読んでみましょう（というメッセージが伝わる。）(42字)</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>(略)</p> <p>・B</p> <p>〈メッセージ〉</p> <p>「その本」は，「未来」を示してくれる「案内図」なので，もっと読書をするようにしましょう（というメッセージが伝わる。）(44字)</p> <p>〈表現の工夫とその効果〉</p> <p>(略)</p> <p>* 〈メッセージ〉に，〈標語〉に直接書かれていない作者の思いを具体的に書いていない。</p>	
9		上記以外の解答	
0		無解答	

#### ■正答について

早川さんの作った〈標語〉のどちらかを選び，〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を具体的に書いているものを正答とする。

#### ■誤答について

「解答類型」に示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

[誤答例は，解答類型を参照のこと。]

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 具体的な表現と結び付けながら，表現の技法を理解する

比喩や反復などの表現の技法を理解する際には，具体的な表現と結び付けながら考えることが大切である。例えば，文学的な文章について表現の技法の意味や用法を指摘し合いながら，その効果について意見を述べ合う学習活動が考えられる。その際，小学校での学習内容を踏まえて「擬人法」や「反復法」などの名称と結び付けることが大切である。また，幾つかの表現の技法を取り上げて自己の表現に生かす学習活動も有効である。

指導に当たっては，平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>3</sup>に係る授業アイディア例も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】報告書」P.137

## (2) 文章の内容について自分の考えをもつ

短い言葉で表されている標語などを読む際には、知識や体験と結び付けながら作者のメッセージを豊かに想像することが求められる。例えば、読書を促す標語であれば、大前提としてその標語がもつ「本を読もう」といったメッセージを捉えるだけでなく、本や読書のどのような魅力を取り上げ、どのような具体的なメッセージを伝えようとしているかを考えることが重要である。

## (3) 書いた文章を交流する

書いた文章を交流する際には、表現の工夫やその効果について、読み手の立場からの意見を交流することが大切である。例えば、本問の設定のように、作成した標語を互いに読み合い、〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉の観点で意見を述べたり助言をしたりする学習活動が考えられる。その上で、自分の作った標語等に対しての意見や助言によって気付かされたり、改めて認識したりしたことを明確にし、自分の表現に役立てようとすることも重要である。

指導に当たっては、平成23年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>三に係る授業アイデア例も参考になる。

(参照)

「平成23年度【中学校】授業アイデア例」P. 1～P. 2

## 4. 出典等

公益社団法人読書推進運動協議会「読書週間」の標語は、第45回「読書週間」標語入選作品（平成3年）、第57回「読書週間」標語入選作品（平成15年）、第67回「読書週間」標語入選作品（平成25年）による。

## 国語B 2 説明的な文章を読む（接着剤）

2

【本の一部】

次は、接着剤について書かれた「本の一部」と「インターネットの情報の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

いろいろな物をくっつけることができる接着剤。物を組み立てるときや壊れた物を直すときなどに、とても便利なものがあります。なぜ接着剤は物と物とくっつけることができるのでしょうか。物をくっつける仕組みはいろいろありますが、ここでは代表的な仕組みで考えましょう。

接着する物の表面を顕微鏡で見ると、つるつるしているように見える金属でも、その表面には肉眼では見えない凹凸があることが分かります。そこに



接着剤を塗ると、凹凸のすき間に接着剤が入り込みます。そして、すき間に入った接着剤が固まることで物がくっつきます。これをアンカー効果といいますが、アンカーとは船の錨のことです。接着剤が物をくっつける仕組みを、海の底に錨を下ろし船を留めておく様子に例えて、そう呼んでいます。つまり、液体の状態で物の表面に広く行き渡った接着剤が、すき間に入って固まることで、物と物をくっつけているのです。

次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみましょう。

接着剤が液体から固体になる変化には、いくつかの種類があります。例えば、工作用のりや木工用接着剤は、接着剤の中に水分や溶剤を含んでいて、それらが蒸発することで固まります。水分を含んでいない切手の場合も同様で、切手の裏側のりの部分は、ぬらすことで液体の接着剤になり、やがて固まります。つまり、接着剤に含まれる水分や溶剤が蒸発することで、接着剤が液体から固体になる点で共通しています。また、アイロンでくっつけるタイプの「アブリケ」の場合は、固まっていた接着剤がアイロンの熱によって溶けていったん液体になり、それが冷えて固体になることでくっつきます。このように、熱を加えて接着剤を一度溶かし、その後、液体が冷えて固まることでくっつく接着剤を「ホットメルト接着剤」といいます。他にも、液体が化学変化を起こして固体になるものがあります。例えば、瞬間接着剤はその一例です。物の表面には、乾いているように見えてもわずかに水分が含まれています。また、空気中にも水分が含まれています。瞬間接着剤は、それらの水分に反応し、非常に速いスピードで固体に変化するのです。

最後に、接着剤がどのような場面で使用されているか考えてみましょう。

接着剤の用途を調べると、思いもよらないものに接着剤が使用されていることに気がきます。例えば、飛行機やスペースシャトルの機体の組み立てには接着剤を使用しています。電子部品を作る際にも、金属の粉などを混ぜた接着剤を使用することがあります。また、つり船の中には、船を支えているロープを、コンクリートでできた土台の中に接着剤で固定している船もあります。このように、現代において接着剤は、様々な場面で使用されています。

【注1】 溶剤：物質を溶かすのに用いる液体状のもの。

【注2】 アブリケ：船底の上に、別に切り取った布や革を縫い付けたり、貼り付けたりする工法。また、その付けられたもの。

※ 「インターネットの情報の一部」は、次のページにあります。

【インターネットの情報の一部】

（経済産業省ウェブページによる。）

（経済産業省ウェブページによる。）

「本の一部」と「インターネットの情報の一部」の内容を比較したときの説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 接着剤が物をくっつける代表的な仕組みについて、「本の一部」では物をくっつける過程を述べ、「インターネットの情報の一部」では図を用いて具体的に説明している。
- 2 接着剤の用途について、「本の一部」では意外なものに使われていることを述べ、「インターネットの情報の一部」では使用場面ごとに項目を立てて具体的に述べている。
- 3 接着剤が液体から固体になる変化の仕方について、「本の一部」では接着剤の種類ごとに述べ、「インターネットの情報の一部」では代表的な例を取り上げて説明している。
- 4 簡単にしがせる接着剤について、「本の一部」では簡単にしがせる仕組みを図を用いて説明し、「インターネットの情報の一部」ではその接着剤を利用した商品を紹介している。



二 次の疑問点のうち、「本の二部」や「インターネットの情報の一部」を使って、答えが得られるものはどれですか。次の1から5までのうち、適切なものを二つ選びなさい。

- 1 ガラスとゴムを接着するとき、どのようなことに気を付けたらよいか。
- 2 アップリケをくっつけるとき、アイロンは何度にするべきか。
- 3 人工の歯をつける接着剤と血管をつなぎあわせる接着剤の違いは何か。
- 4 飛行機を組み立てるときに接着剤を使うと、どのような利点があるか。
- 5 瞬間接着剤が非常に速いスピードで物を接着することができるのはなぜか。

三 封筒に貼ってある切手を水の中にしばらく浸しておく、きれいにはがすことができます。その理由を次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、「本紙で消したり行間を書き加えたりしてもかまいません。」

条件1 「切手」、「流石」、「アンカー効果」という言葉を使って書くこと。

条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

## 1. 出題の趣旨

- ・ 複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること
- ・ 複数の資料から必要な情報を読み取ること
- ・ 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くこと

自らの課題を解決するために様々な本や資料を読むことは、各教科等の学習や社会生活においても重要である。その際には、目的に応じて必要な情報を選んで読み取ったり、幾つかの情報を組み合わせて判断したりするなど、読み取った情報を活用することが求められる。

本問では、接着剤について説明した文章と、接着剤に関するウェブページを取り上げた。複数の資料を比較して読み、要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ったりすることに加え、課題解決に向けて、読み取った情報を使って説明することを求めている。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

〔第2学年〕 C 読むこと

ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

#### ■評価の観点

読む能力

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	一	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

接着剤の用途として、【本の一部】では、飛行機、スペースシャトル、電子部品、つり橋を取り上げ、「思いもよらないものに接着剤が使用されていること」を述べている。【インターネットの情報の一部】では、飛行機やスペースシャトルなど使用場面ごとに項目を立てて、どこにどのように使用されているのかを具体的に述べている。

### 設問二

#### 趣旨

複数の資料から必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。 《読書と情報活用》

#### ■評価の観点

読む能力

## 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	二	1	4, 5と解答しているもの	◎
		2	4または, 1と4, 2と4, 3と4と解答しているもの	
		3	5または, 1と5, 2と5, 3と5と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

選択肢4は,【インターネットの情報の一部】の「飛行機」の項目に,「接着剤を利用することで空気抵抗が少なく,機体が軽くなるので,速度性能や燃費が向上しました」とあることから答えが得られる。選択肢5は,【本の一部】に,瞬間接着剤は,物の表面や空気中に含まれる「水分に反応し,非常に速いスピードで固体に変化する」とあることから答えが得られる。

### ■誤答について

- (1) 選択肢1→ガラスとゴムを接着するときの注意点については,どちらの資料でも触れていない。
- (2) 選択肢2→アップリケについては,【本の一部】に「固まっていた接着剤がアイロンの熱によって溶けて」とあるが,その温度までは書かれていない。
- (3) 選択肢3→【インターネットの情報の一部】の「医療用接着剤」の項目で,人工の歯を付けたり血管をつなぎ合わせたりする例は書かれているが,接着剤の違いは書かれていない。

## 設問三

### 趣旨

資料から適切な情報を得て,伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるかどうかをみる。

「4年間のまとめ【中学校編】」では,文章や資料から必要な情報を取り出し,伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があると分析している。そこで本設問では,【本の一部】の情報を根拠にして,日常生活で見られる現象の理由を説明する場面を設定した。ここでは,封筒に貼ってある切手を水の中に浸しておくときれいにはがすことができる理由の説明を求めている。

【本の一部】から,接着剤が物をくっつける仕組みや,切手ののりの性質などの情報を適切に得て,分かりやすく説明する力が必要になる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について,自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

〔第2学年〕 C 読むこと

オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て,自分の考えをまとめること。

《読書と情報活用》

## ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

読む能力

## 解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 切手を水の中にしばらく浸しておくときれいにはがすことができる理由を適切に書いている。 ② 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書いている。 ③ 二十字以上、五十字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・ 切手を水に浸すことで、固体となっていたのりが液体となり、アンカー効果がなくなるから。(43字) ・ 切手ののりが液体になり、アンカー効果を失うから。(25字) ・ 水にしばらく浸すと切手ののりの部分が固体から液体になる。その結果、アンカー効果がなくなるから。(48字) ・ アンカー効果で物をくっつけていた接着剤が、水に浸されると液体になるから、切手のはがれる。(45字)	
	1 条件①，②，③を満たして解答しているもの	◎
	2 条件①，②を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの	
	3 条件①，③を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの (例) ・ 固まっていた切手ののりの部分が溶けてしまい，アンカー効果が失われるから。(37字) * 「液体」という言葉を使わずに書いている。	
	4 条件②，③を満たし，条件①を満たさないで解答しているもの (例) ・ アンカー効果がなくなったので，切手の接着剤が液体になったから。(32字) * 原因と結果を逆に捉えて書いている。	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

## ■正答について

切手を水の中に浸しておくときれいにはがすことができる理由を，接着剤のアンカー効果が失われる，あるいは接着剤が液体になるという言い方で適切に述べているものを正答とする。

## ■誤答について

「解答類型」に示した三つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

[誤答例は，解答類型を参照のこと。]

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 説明的な文章の特徴を踏まえて資料を読む

目的や意図に応じて必要な情報を収集する際には、説明的な文章の特徴を踏まえて本や文章の内容を捉えることが必要である。中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、段落ごとに内容の大体を捉えたり、大きな意味のまとまりに分けて文章全体における役割を明らかにしたりする学習活動が大切である。

#### (2) 複数の資料から必要な情報を読み取る

課題を解決するためには、複数の資料を読み、多面的に情報を得ることが重要である。複数の資料を効率的に読むためには、表題や目次、索引等を活用して資料を選んだり、資料の構成や見出しなどの書き方の特徴を踏まえて情報を素早く探したりするように指導する必要がある。それと同時に、一つの資料から他の資料につなげていく読み方を身に付けることが大切である。例えば、得られた情報について、重要な語句を基に別の資料に当たったり、一つの資料では解決できなかったことについて、ポイントを絞って他の資料を探したりするなどの学習活動が考えられる。

#### (3) 伝えたい事実や事柄を明確にして説明する

本や文章を読んで得られた知識は、他の人に向けて説明することで一層明確になるとともに定着が図られる。各教科等においても、説明する活動が多く行われている。

説明は調べたことを羅列するだけでは十分ではない。説明する際には、複数の情報の内容を正確に捉え、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして説明する内容を適切に組み立てることが求められる。国語科の学習の中で、このような点に留意した説明の機会を設けることが大切である。

### 4. 出典等

【本の一部】は、永田宏二『接着のおはなし 改訂版』（平成9年11月 財団法人日本規格協会）、三刀基郷『今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい接着の本』（平成15年5月 日刊工業新聞社）、古田ゆかり『くっつけパワー』全開！接着剤の底力とは？』（『Science Window 2007年6月号／第1巻第3号』平成19年6月 独立行政法人科学技術振興機構）、菅野照造・堀井真監修『おもしろサイエンス 接着の科学』（平成25年2月 日刊工業新聞社）、経済産業省ウェブページなどを参考にした。

【インターネットの情報の一部】は、経済産業省ウェブページによる。

国語B ③ 落語を味わう（「目黒のさんま」）

③ 落語は、一人の演者が、座ったまま何人もの登場人物を演じて物語を表現する日本の伝統的な芸能です。次の「落語を紹介する本の一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

「落語を紹介する本の一部」

■落語の構成■ 次の三つの要素で構成されている。

（まくら） 本題に入る前の導入部分。本題と関係のある短い話などで聞く人を引き付ける。

（本題） 話の中心部分。「趣」と呼ばれるナレーションを含みながら、主に登場人物の会話で話を進める。

（落ち） 話の最後の部分で、聞く人を笑わせたり納得させたりする。話がストンと落ちるように結末を迎えるので「落ち」という。

■人物の演じ分け■ 一人で演じるので、独特の工夫がある。

客席から見ると、舞台の右の方を上手、左の方を下手という。会話の場面では顔を上手や下手に向けてすることで、登場人物の上下関係や位置関係を表す。顔の向きや口調、仕草を変えることで、何人もの登場人物を表現する。



相手の立場が下なら下手に向かって話す。



相手の立場が上なら上手に向かって話す。

【落語「目黒のさんま」のあらすじ】

ある秋の日、江戸に住む殿さまが、家来を連れて、郊外の目黒まで舟に乗って出掛けました。殿さまが空腹を感じ出した頃、どこからか魚を焼くにおいが漂ってきました。殿さまは、このよいにおいが「さんま」という魚を焼くにおいだと思い、さんまが食べたくなってしまうのです。

殿さまは、家来たちに「早速さんまを用意せよ」と言い付けました。しかし、このあたりには魚屋も見当たらないため、さんまはすぐに手に入りません。困った家来たちは、さんまを焼いていた魚屋を訪ね、おのづから焼きたてのさんまを譲ってくれるように頼みますが断られます。そのやりとりを聞いていた殿さまは、自らお願いし、ようやく、生まれて初めてのさんまを召し上げられます。空腹のところに、匂いもあって、おいしいに殿さまは大喜びしました。

屋敷に戻ってから、殿さまは目黒で食べたさんまの味が忘れられません。しかし、殿さまの食事に庶民の食べるさんまなど出てくるはずもなく、さんまへの思いは日に日に募る一方です。

ある日、殿さまは、親戚の家に出掛けました。すると、「何でもお好みのお料理をお申し付けください」とのことでしたので、殿さまは、待つてましたばかりに、「さんまが食べたい」とおっしゃいました。親戚の家来たちは、早速日本橋の魚河岸から最も上等なさんまを取り寄せました。しかし、このような数の多い魚を蒸し上げて、もしもお体にさわっては一大事と心配した家来たちは、十分に蒸して、小言は毛抜きで抜いて、さんまのだしがらみないものをこしらえました。

（注1） 日本橋の魚河岸は当時、江戸の日本橋には大きな魚市場があり、新鮮な魚が集まっていた。  
（注2） だしがらみは汁をとったあとの身。

※ 話は、このあとの「落語「目黒のさんま」の最後の部分」(次のページ)に続きます。



【落語「目黒のさんま」の最後の部分】

（興津要『古典落語』による。）

（注3） 感嘆にむせふように涙がこぼれ落ちた。

（注4） 御座り、そのとおりです。

一 親部①「なに、これがさんまとお申すか。」——親部②「いいえ、さんまに間違ひございませぬ」とありますが、この部分を落語で演じる場合、演者はそれぞれ、顔をどちらの方向に向けて話しますか。【落語を紹介する本の一部】を参考にし、次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ①上手 ②上手
- 2 ①上手 ②下手
- 3 ①下手 ②上手
- 4 ①下手 ②下手

二 親部③「あ、それはいいかん。さんまは目黒にかぎる」とありますが、この部分が表す殿さまの姿として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 おいしくないさんまでも家来のために思っておいしいふりをする、優しい殿さまの姿。
- 2 目黒でおいしいさんまがとれることを知らない家来に比べ、賢い殿さまの姿。
- 3 ずっと食べたかったさんまをやっと食べることができて、喜んでる殿さまの姿。
- 4 目黒がおいしいさんまのとれるところだと思いついて、世間知らずな殿さまの姿。

三 〇〇編部「これがさんまか？」とありますが、あなたならどのように演じますか。次の《演じ方》のA、Bから一つ選び、これらの《演じ方》を選んでください。なぜそのように演じるのか、あなたの考えを、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

《演じ方》

A 家来を責めるように演じる。  
B 家来に問いかけるように演じる。

条件1 このように言った殿さまの気持ちを想像して書くこと。なお、そのように想像した根拠を、『落語「目黒のさんま」』のあらすじや『落語「目黒のさんま」』の最後の部分から引用したり要約したりして示すこと。

条件2 五十字以上、八十字以内で書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

《演じ方》

A B

〇〇

〇〇

## 1. 出題の趣旨

- ・ 本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ること
- ・ 落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像すること
- ・ 落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

古典落語は、現代においても広く親しまれている伝統芸能であり、<sup>はなし</sup>噺を聞きながら当時の文化や生活を想像することができる。古典に親しませるとともに、我が国に長く伝わる言語文化について関心を広げたり高めたりするのに適した教材の一つである。

本問では、「目黒のさんま」を取り上げ、文章の内容を的確に捉えた上で、資料から必要な情報を読み取って活用したり、落語の演じ方について根拠を明確にして自分の考えを書いたりすることを求めている。

なお、問題の素材として落語を取り上げたのは、今回が初めてである。

### ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 B 書くこと

イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。

〔第1学年〕 C 読むこと

ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。



## 2. 解説

### 設問一

#### 趣旨

本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。 《読書と情報活用》

#### ■評価の観点

読む能力

#### 解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
③	—	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	◎
		4	4と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

#### ■正答について

【落語を紹介する本の一部】の「人物の演じ分け」の項目には、「相手の立場が下なら下手に向かって話す。」「相手の立場が上なら上手に向かって話す。」ことが写真とともに示されている。本設問で示した——線部①は、殿さまの言葉であることから「下手」に向かって話し、——線部②は、家来言葉であることから「上手」に向かって話すことが適切である。

### 設問二

#### 趣旨

落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。



## ■評価の観点

読む能力

言語についての知識・理解・技能

## 解答類型

問題番号	解答類型	正答
③ 二	1 1と解答しているもの	
	2 2と解答しているもの	
	3 3と解答しているもの	
	4 4と解答しているもの	◎
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

## ■正答について

江戸に住む殿さまが、郊外の目黒で、庶民の食べるさんまを初めて食べておいしかったことから、目黒がおいしいさんまのとれるところだと思い込んだことが、——線部③「あっ、それはいかん。さんまは目黒にかぎる」という言葉となって出てくる。それが、世間知らずな殿さまを表すことになり、落語の落ちとなっている。

## 設問三

### 趣旨

落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

「4年間のまとめ【中学校編】」では、文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があると分析している。また、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B②③（正答率 66.2%）では、文章の内容について根拠となる部分を本文から引用して自分の考えを具体的に書くことに課題が見られた。そこで本設問では、本文に書かれた内容を根拠にして、落語の一部をどのように演じるかについて自分の考えを書く場面を設定した。話の展開、登場人物の人物像や心情の変化などを基に場면을想像し、根拠となる本文を引用したり要約したりして自分の考えを書くことを求めている。

## ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

〔第2学年〕 C 読むこと

エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。 《自分の考えの形成》

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) ア

(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。

## ■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

読む能力

言語についての知識・理解・技能

## 解答類型

問題番号	解答類型	正答
③	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① AとBのいずれか一つの〈演じ方〉を選んで、その記号を塗り潰している。 ② このように言った殿さまの気持ちを想像して適切に書いている。 ③ 【落語「目黒のさんま」のあらすじ】や【落語「目黒のさんま」の最後の部分】から正しく引用したり要約したりして書いている。 ④ ③が、②の根拠として適切である。 ⑤ 五十字以上、八十字以内で書いている。 * ②、③のどちらかを満たさない場合は、④も満たさないものとする。 ~~~~~ (正答例) ・ A 殿さまは、とても怒っていると思うので、Aのように演じます。根拠は、「蒸して、脂がぬいてあるばさばさの」まずいさんまを食べさせられたからです。 (71字) ・ A 殿さまは腹を立てていると思う。さんまに間違いないかを家来に確認したあとに一口食べたところ、目黒で食べたものとは違ったからだ。だから、責めるように演じる。 (77字) ・ B 殿さまは、不思議に感じていると思うからです。なぜなら、目の前に出されたさんまを一口食べてみると、目黒で食べたときのさんまとは全く違う味だったからです。 (76字) ・ B 「感涙にむせんで」食べるほど期待していたのに、目黒で食べたさんまとは味が違って戸惑っているだろうから。 (52字)	
	1 条件①、②、③、④、⑤を満たして解答しているもの	◎
	2 条件①、②、③、④を満たし、条件⑤を満たさないで解答しているもの	
	3 条件①、②、③、⑤を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの (例) ・ A 殿さまは、腹を立てていると思う。なぜなら、殿さまは、目黒で脂ののった焼き立てのさんまを食べたからだ。 (51字) ・ B 殿さまは、不思議に感じていると思うからです。根拠は、「いいえ、さんまに相違ございません」と家来が断言しているから。 (58字) * 引用したり要約したりした内容が、想像した殿さまの気持ちの根拠の説明として不足している。	

		4	<p>条件①，②，⑤を満たし，条件③，④を満たさないで解答しているもの (例1)</p> <p>・A</p> <p>私は嫌いなものが夕食に出ると不機嫌になり，母に文句を言うてしまうことがある。だから，ここでは不機嫌になっているはずだと思う。(63字)</p> <p>＊ 【落語「目黒のさんま」のあらすじ】や【落語「目黒のさんま」の最後の部分】から引用したり要約したりしていない。</p> <p>(例2)</p> <p>・B</p> <p>「感涙にむせんで」食べるほど期待していたさんまが，目黒で食べたさんまと全く同じ味だったので戸惑っていると思うから。(58字)</p> <p>＊ 本文の内容を正しく理解して要約していない。</p>	
		5	<p>条件①，③，⑤を満たし，条件②，④を満たさないで解答しているもの (例1)</p> <p>・A</p> <p>殿さまが長い間食わずにいて久しぶりに食べたさんまが，脂が抜いてあってばさばさなものであったので，家来を責めるように演じます。(62字)</p> <p>＊ 殿さまの気持ちを書いていない。</p> <p>(例2)</p> <p>・B</p> <p>殿さまは喜んでいると思う。さんまに間違いないかを家来に確認したあとに一口食べたところ，目黒で食べたものとは違ったからだ。(61字)</p> <p>＊ 気持ちが適切に書かれていない。</p>	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

### ■正答について

〈演じ方〉のどちらかを選び，なぜそのように演じるのかを，本文を正しく引用したり要約したりして根拠として示し，殿さまの気持ちを想像して書いているものを正答とする。

### ■誤答について

「解答類型」に示した五つの条件のいずれか一つでも満たしていなければ誤答とする。

[誤答例は，解答類型を参照のこと。]

(参考)

### ○平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 2三

文章の内容について，根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題を出题している。(正答率 66.2%)

### 3. 学習指導に当たって

#### (1) 古典について解説した文章などを活用して古典に親しむ

中学校における古典の指導は、生徒が古典に親しむことを狙いとしている。そのため、古典を学習する際には、古典の原文に加えて、古典について解説した文章などを取り上げることが効果的である。また、落語や歌舞伎、狂言などの伝統芸能に触れて、演じ方に興味をもったり、情景や人物について想像を広げたりすることなども、古典に一層親しむことにつながる。伝統芸能に触れる方法としては、音声や映像メディアの活用なども考えられる。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－5も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P. 27～P. 28

#### (2) 文章全体の面白さを味わう

文学的な文章について、文章全体の面白さや雰囲気味わうには、文章の展開に沿って場面の様子を捉えたり、登場人物の言動の意味を考えたりすることが大切である。その上で、作品全体に表れたものの見方や考え方などについて自分の考えをもつことが、作品の内容を一層深く理解することにつながる。例えば、場面の展開に着目して文章の粗筋を紹介する学習活動が考えられる。

#### (3) 根拠を明確にして自分の考えを書く

文学的な文章を読む際には、登場人物の心情や作者の思いなどを想像することが大切である。その際、自分が感じたことや考えたことの根拠を、文章の一節や文章の展開に照らして明らかにすることが重要である。

また、それが自分の考えの根拠として妥当であるか、その説明に不足はないかなどを検討することが大切である。例えば、作品を読んで、気になる言葉や場面などについて、根拠を明確にして自分の考えを書き、根拠の妥当性について意見を述べ合う学習活動が考えられる。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>3</sup>、及び平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>2</sup>に<sup>三</sup>に係る授業アイディア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－3、国語－15も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイディア例」P. 5～P. 6、「平成25年度【中学校】授業アイディア例」P. 11～P. 12、「平成24年度【中学校】報告書」P. 208～P. 209、「言語活動事例集【中学校版】」P. 23～P. 24、P. 47～P. 48

### 4. 出典等

【落語を紹介する本の一部】は、大野桂『大道芸・寄席芸 日本の伝統芸能<sup>7</sup>』（平成7年4月 小峰書店）、林家木久扇監修『お笑いの達人になろう！①落語』（平成21年3月 ポプラ社）などを参考にした。

【落語を紹介する本の一部】にある写真は、斎須博氏（高座名：二松亭ちゃん平、茨城キリスト教学園中学校高等学校教諭、第三回社会人落語日本一決定戦優勝者）。

【落語「目黒のさんま」のあらすじ】は、興津要「目黒のさんま」（『古典落語』平成14年12月 講談社）を参考にした。

【落語「目黒のさんま」の最後の部分】は、興津要「目黒のさんま」（『古典落語』平成14年12月 講談社）による。



## Ⅳ 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 A 木下ナ

解答欄はウラにもあります。

例

青木さんが、部長に先導され  
グラウンドに登場しました。

1 - ① ● ③ ④ = ① ② ● ④

2 - ① ● ③ ④

= 僕の心は

軽 くなつた。

3 - ① ② ③ ● = ① ② ● ④ = ① ● ③ ④

4 - ① ② ③ ●

=

※「組」と「出席番号」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗り演じてください。

例：3組 7番の場合

組：03 出席番号：07

生徒記入欄		性別	
組	出席番号	男	女
00	00	0	0
01	01	1	1
02	02	2	2
03	03	3	3
04	04	4	4
05	05	5	5
06	06	6	6
07	07	7	7
08	08	8	8
09	09	9	9

答案番号

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 A **ウラ**

5 - 

<input checked="" type="radio"/>	②	③	④
----------------------------------	---	---	---

 = 

①	②	<input checked="" type="radio"/>	④
---	---	----------------------------------	---

6 - 

--	--	--	--

 = 

①	②	③	<input checked="" type="radio"/>
---	---	---	----------------------------------

例 

未	来	の	姿
---	---	---	---

7 - 

<input checked="" type="radio"/>	②	<input checked="" type="radio"/>	④
----------------------------------	---	----------------------------------	---

 = 

<input checked="" type="radio"/>	②	③	④
----------------------------------	---	---	---

※二つ選んで解答すること。

8 - 

1	招待
---	----

2	半径
---	----

3	移	す
---	---	---

二 

1	ちぎよ
---	-----

2	おんきよう
---	-------

3	いど	も
---	----	---

三 ア 

①	②	<input checked="" type="radio"/>	④
---	---	----------------------------------	---

 イ 

<input checked="" type="radio"/>	②	③	④
----------------------------------	---	---	---

 ウ 

①	②	<input checked="" type="radio"/>	④
---	---	----------------------------------	---

エ 

①	②	③	<input checked="" type="radio"/>
---	---	---	----------------------------------

 オ 

①	<input checked="" type="radio"/>	③	④
---	----------------------------------	---	---

 カ 

①	<input checked="" type="radio"/>	③	④
---	----------------------------------	---	---

キ 

<input checked="" type="radio"/>	②	③	④
----------------------------------	---	---	---

四 例 

活動する気力を少しずつ作り上げる。
-------------------

五 1 

まうけて	もうけて
------	------

 2 

ねずみ
-----

六 

①	<input checked="" type="radio"/>	③	<input checked="" type="radio"/>
---	----------------------------------	---	----------------------------------

※二つ選んで解答すること。

解答欄はオモテにもあります。



※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑤ 国語 B 木下ナ

1 ー ① ② ● ④

二 ● ② ③ ④

↑選んだ〈標語〉を塗り潰しなさい。

三 〈標語〉 ● ⑤

〈メッセージ〉

例 私たちは、本から様々な情報を  
キヤッチすることができます。だ  
から、心を豊かにするために本を  
読みませんか  
というメッセージが伝わる。

〈表現の工夫とその効果〉

例 心のアンテナを伸ばすという比  
喩を用いることで、読書すること  
のよさを読む人に分かりやすく示  
している。

解答欄はウラにもあります。

※「組」と「出席番号」は、  
下の例のように、2ケタ  
で記入し、マーク欄を塗  
り潰してください。

例：3組 7番の場合

組：013 出席番号：017

生徒記入欄		性別	
組	出席 番号	男	女
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

答案番号

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑤ 国語 B ウラ

2 一 ① ● ③ ④

二 ① ② ③ ● ●

※二つ選んで解答する。こ。

三 例 切手を水に浸すことで、固体となつていたのりが液体となり、アシンカー効果がなくなるから。

3 一 ① ② ● ④

二 ① ② ③ ●

←選んだ〈演じ方〉を塗り潰しなさい。

三 〈演じ方〉 ● B

例 殿さまは、とても怒っていると思うので、Aのように演じます。根拠は、「蒸して、脂がぬいてあるばさばさの」まずいさんまを食べさせられたからです。

解答欄はオモテにもあります。



## V 点字問題（抜粋）

(三) 次のアからキの文では、 部分に入れるのに1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ウ 地域の伝統的な文化を  する。

- 1 印象    2 訴訟    3 継承    4 暗唱

(六) 前田さんは、五月上旬に、小学校の先生に手紙を書いています。前田さんが【手紙の書き出し】に使う語句として適切なものを、1から4までの中から二つ選びなさい。

- 1 寒風吹きすさぶ季節となりました。  
2 新緑の美しい季節となりました。  
3 残暑もようやくやわらぐ季節となりました。  
4 風かおる季節となりました。

A 主として「知識」に関する問題

**8**

次の(一)から(六)までの各問いに答えなさい。

(一) 次の1から3までの文中の「・・・」で示した部分と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から一つずつ選びなさい。

1 地域の人をしよう「たい」する。

2 円の「はん」けいを求める。

3 座席を「い」どうする。

ア ジ「たい」とどけ

ア も「はん」てき

ア 「い」いんかい

イ せつ「たい」がかり

イ い「はん」する

イ 「い」じげん

ウ かざん「たい」

ウ ひ「はん」する

ウ 「い」じゅうする

エ にん「たい」りよく

エ か「はん」すう

エ 「い」しきする

(二) 次の1から3までの文中の「・・・」で示した語句の意味を、簡潔に説明しなさい。

1 アユの「稚魚」を放流する。

2 このホールは「音響」効果が良い。

3 新記録に「挑戦」する。

解答類型（点字問題部分）

A 主として「知識」に関する問題

問題番号		解 答 類 型			正 答
8	(一) 1	1	イと解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(一) 2	1	エと解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(一) 3	1	ウと解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(二) 1	1	「卵からかえって間もないの魚」という意味が含まれているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(二) 2	1	「音の響き」という意味が含まれているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(二) 3	1	「戦いを挑む」という意味が含まれているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(三) ウ	1	3と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	(六)	1	2， 4と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

## 巻末資料

### 【本調査の実施において参考となる過去の調査】

調査名	実施時期	対象学年	調査対象生徒数
平成19年度 全国学力・学習状況調査	平成19年4月	第3学年	1,196,898 人
平成20年度 全国学力・学習状況調査	平成20年4月	第3学年	1,181,927 人
平成24年度 全国学力・学習状況調査 (抽出調査)	平成24年4月	第3学年	1,183,501 人
平成25年度 全国学力・学習状況調査	平成25年4月	第3学年	1,189,795 人

※各調査の実施時期や対象学年、問題の全体構成等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

### 【参考文献】

- ・文部科学省「中学校学習指導要領」 平成20年3月告示
- ・文部科学省「中学校学習指導要領解説 国語編」 平成20年9月
- ・全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」 平成18年4月25日
- ・全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ」 平成23年3月31日
- ・文部科学省「読解力向上に関する指導資料 ～PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向～」 平成17年12月
- ・文部科学省「読解力向上プログラム」 平成17年12月
- ・文部科学省「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」 平成23年5月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料（中学校）―評価規準，評価方法等の研究開発（報告）―」 平成14年2月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成のための参考資料（中学校）」 平成22年11月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校 国語）」 平成23年7月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成19年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成20年1月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成20年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成20年11月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成21年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成21年12月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成22年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」 平成22年10月



- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」  
平成24年 9 月
- ・文部科学省 国立教育政策研究所「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校  
国語」 平成25年 8 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 19 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料  
中学校 国語」 平成19年 5 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 20 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料  
中学校 国語」 平成20年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 21 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料  
中学校 国語」 平成21年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 22 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料  
中学校 国語」 平成22年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料  
中学校 国語」 平成24年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料  
中学校 国語～一人一人の生徒の学力・学習状況に応じた学習指導の改善・充実に向けて～」  
平成25年 4 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「解説資料 中学校 国語」 平成23年 9 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 21 年度 全国学力・学習状況調査【中学校】  
の結果を踏まえた授業アイデア例」 平成21年 8 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 22 年度 全国学力・学習状況調査【中学校】  
の結果を踏まえた授業アイデア例」 平成22年 8 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 24 年度 全国学力・学習状況調査【中学校】  
の結果を踏まえた授業アイデア例」 平成24年 9 月
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査の結果を  
踏まえた授業アイデア例 中学校 国語 数学」 平成25年 9 月
- ・国立教育政策研究所ウェブサイト「平成 23 年度 全国学力・学習状況調査として実施予定で  
あった調査問題を踏まえた授業アイデア例 中学校 国語」
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査の 4 年間の調査結果から今  
後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【中学校編】」  
平成24年 9 月

※ これらの資料は、文部科学省及び国立教育政策研究所のウェブサイトにも公開されている。



本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。